

代表者のことば

ともに考え、バトンを託す教科書



谷口 将紀 (たにぐち まさき) 東京大学教授

みなさんは将来、どのような社会で、どのような仕事をして、どのように暮らしたいですか。そして、次の世代の子どもたちに、どのような社会を残したいですか。――私たちの教科書は、このような問いかけで始まります。これは日本や世界の将来を担う若者へのエールであると同時に、現在を生きる私たち自身への問いでもあります。2020年からの新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって、それまで当たり前のように思っていた学校生活や日々の暮らしがあっけなく一変させられてしまうことを、今の子どもたちは肌感覚で分かっています。東日本大震災などの災害の被害者やロシアによる侵攻によって平和な日常を奪われたウクライナの人びとの苦しみを、他人事ではなく捉えられる感性を持っています。3年後には成人となって社会に飛び立っていく中学3年生の、一人一人の経験や思いから引き出される「なぜ」「どうして」に寄り添いながら、現代社会はどのような仕組みで動いており、いかなる課題があり、その解決のために自分たちは主権者として何ができるのか。少しでも先にこの世に生を受けた存在として、これまで見聞きしたり学んだりしたことを伝え、ともに考え、そうして将来を切り拓くバトンを託す。このような気持ちで『新編 新しい社会 公民』を世に送ります。より多くの子どもたちが社会を考えるための役に立てることを願っています。

編集に携わった人々

- 代表
島津 弘 立正大学教授
顧問
荒井 正剛 東京学芸大学特任教授
関 裕幸 東京都立小石川中等教育学校主任教諭
秋澤 夢子 いの町立伊野中学校教諭
五十嵐辰博 千葉大学教育学部附属中学校教諭
石高 吉記 埼玉大学教育学部附属中学校教諭
今村 吾朗 練馬区立石神井西中学校主任教諭
入子 彰子 元文京区立音羽中学校指導教諭
岩本 鷹薫 福井市明倫中学校教諭
上園 悦史 東京学芸大学附属竹早中学校教諭
山口麻衣子 新潟市立内野中学校教諭
江間 史明 山形大学教授
大石 太郎 関西学院大学教授
緒方 浩臣 横浜市立港中学校校長
岡部 誠 板橋区立志村第一中学校校長
大西 弘員 広島大学附属東雲中学校教諭
小野 大助 福山市立神辺中学校教諭
勝田 俊輔 東京大学教授
鎌倉 夏来 東京大学准教授
唐木 清志 筑波大学教授
河野真理子 早稲田大学教授
木村 博一 広島大学名誉教授
草原 和博 広島大学教授
久保 五月 高知県立高知国際中学校教諭
栗原 久 東洋大学教授
呉羽 正昭 筑波大学教授
小谷 勇人 春日部市立武里中学校教諭
兒玉 修 九州保健福祉大学学長
小林 大介 蕪市教育委員会指導主事
近藤 晃史 福山市立理想学園教諭
近藤沙耶香 港区立港南中学校主任教諭
今野日出晴 岩手大学教授
佐川 英治 東京大学教授
佐久間敦史 大阪教育大学准教授
迫 真也 広島市立紙園中学校教諭
佐々木智章 早稲田大学高等学院教諭
佐藤 弘直 厚木市立依知中学校教諭
佐藤 全敏 東京女子大学教授
重 秀雄 広島市立中広中学校主幹教諭
篠田 穰 福岡教育大学附属福岡中学校主幹教諭
篠塚 昭司 東京学芸大学附属世田谷中学校主幹教諭
白澤 保典 東村山市立東村山第四中学校主任教諭
須釜 昇平 八千代市立村上東中学校教諭

- 高橋慎一郎 東京大学史料編纂所教授
谷口 将紀 東京大学教授
矢ヶ崎典隆 東京学芸大学名誉教授
小原 友行 福山大学教授
坂上 康俊 九州大学名誉教授
戸波 江二 早稲田大学名誉教授
関宮 陽介 京都大学名誉教授
菅谷 昌弘 札幌市立平岡緑中学校教頭
薄田 和弥 札幌市立元町中学校教諭
鈴木 拓磨 豊島区立千登世橋中学校主幹教諭
関戸 明子 群馬大学教授
関 真規子 文京区立第六中学校指導教諭
瀬戸 康輝 広島市立大塚中学校教諭
早福 孝史 新潟市立高志中等教育学校教諭
高田 晶 足立区立東綾瀬中学校指導教諭
高橋 晶 千葉大学教育学部附属中学校教諭
高橋 達弥 足立区立第十四中学校主幹教諭
高山 知機 世田谷区立太子堂中学校校長
田崎 義久 東京学芸大学附属小金井中学校教諭
田中 将吾 福山市立済美中学校教諭
田中 伸 岐阜大学教授
谷藤 良功 千葉市立福毛国際中等教育学校教諭
学習院大学教授
千葉 一晶 調布市立第四中学校副校長
坪田 益美 東北学院大学教授
寺本 誠 お茶の水女子大学附属中学校教諭
土肥大次郎 長崎大学教授
豊嶋 啓司 福岡教育大学教授・副学長
内藤 圭太 東京学芸大学附属竹早中学校教諭
中尾 学 台東区立上野中学校主幹教諭
中北 浩爾 中央大学教授
中平 一義 上越教育大学教授
中村 達矢 福岡市立金武中学校教諭
中山 晃介 福井市光陽中学校教諭
新坂 大輔 清瀬市立清瀬第二中学校主幹教諭
服部 一秀 山梨大学教授
濱田 幸伸 高知大学教育学部附属中学校教諭
濱本 大悟 江東区立深川第八中学校主任教諭
東野 茂樹 葛飾区立堀切中学校副校長
藤井 辰典 松原市立松原中学校教諭
藤瀬 泰司 熊本大学教授
藤田 詠司 高知大学教授
藤田 淳 東村山市立東村山第二中学校主幹教諭
藤原 一弘 愛媛大学准教授
星野 勇悟 大東市立四条小学校首席
細野 悠司 埼玉大学教育学部附属中学校教諭
前田 良介 福山市立培遠中学校教諭
真壁 佑輔 札幌市立上野幌中学校教諭
牧 紀男 京都大学防災研究所教授
松澤 克行 東京大学史料編纂所教授
松下 誠 福岡市立住吉小中学校校長
松多 信尚 岡山大学教授
松原 健明 横須賀市立武山中学校総括教諭
溝口 和宏 鹿児島大学教授
向井 敏幸 大阪教育大学教授
向井 敏幸 福井市足羽中学校教諭
毛利 透 京都大学教授
森川 禎彦 福井大学教育学部附属義務教育学校教諭
森山 幸一 福岡市立友泉中学校教諭
諸富 徹 京都大学教授
山貝 洋輔 新潟大学附属新潟中学校教諭
山田 秀和 岡山大学教授
湯澤 規子 法政大学教授
吉田圭一郎 東京都立大学教授
吉水 裕也 兵庫教育大学理事・副学長
渡辺 宏輝 札幌市立明園中学校教諭
渡邊 頼史 福山市立城南中学校教諭
鵜淵 翔大 札幌市立栄町中学校教諭
ICTの活用に関する校閲
福垣 忠 東北学院大学教授
緒方 広明 京都大学教授
小柳和喜雄 関西大学教授
小崎 誠二 奈良教育大学客員准教授
泰山 裕 鳴門教育大学大学院准教授
寺澤 孝文 岡山大学教授
特別支援教育に関する校閲
田中 良広 帝京平成大学教授
道面 美紀 墨田区立本所中学校指導教諭
ほか1名
東京書籍株式会社
色彩デザインに関する編集協力
色覚問題研究グループぱずてる

東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1
Tel:03-5390-7373(社会編集部) Fax:03-5390-6015
支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467
金沢 076-222-7581 名古屋 052-950-2260 大阪 06-6397-1350
広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770
那覇 098-834-8084
ホームページ https://www.tokyo-shoseki.co.jp
教育情報サイト 東書Eネット https://ten.tokyo-shoseki.co.jp

東京書籍

パンフ+αの情報を特設サイトで!

東京書籍 中学校 公民



この資料は、令和7年度用中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。



内容解説資料



新編 新しい社会 公民



教科書活用 Q & A更新中!



*「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。
The United Nations Sustainable Development Goals web site: https://www.un.org/sustainabledevelopment/
The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.

東京書籍



今と向き合い、持続可能な社会の実現に向けて
「これからの社会を
生き抜く力」を育む



「新編 新しい社会 公民」3つの特色

特色

1

課題解決的な学習に
わくわくをプラス!



わくわくを誘う 学びの入り口 8
 1時間の学習の流れを「見える化」 12
 学びを実感! 学習のまとめ 14

特色

2

紙とデジタルで
学びがアップデート!



さまざまなシーンに最適な
QRコンテンツ 18
 多彩なQRコンテンツで
学びをサポート 20

特色

3

生徒一人一人と
社会がつながる教科書



一人一人の資質・能力を育てる工夫 22
 今と向き合い これからのを考える教科書 24
 誰一人取り残されない学びのために 26

「新編 新しい社会 公民」の
編集にあたって
— 編集部からのメッセージ —



この教科書は、課題を自分たちで見つけ、考え、伝えるというプロセスを大切にしながら、現代社会を学んでほしいとの思いで、多くの人たちの力を集めて作られました。日常生活における困りごとから、地球規模の課題まで、今を知り、どこに課題があるのか、それはなぜ起きているのか、どうしたら解決に向かうのか、これからの社会の在り方を一緒に考えられるように紙面を工夫しました。中学生のみなさんに、公民の学びから現代社会の課題を見つけ、解決に向かうプロセスを通じて豊かな未来を創造してもらえることを願っています。

目次

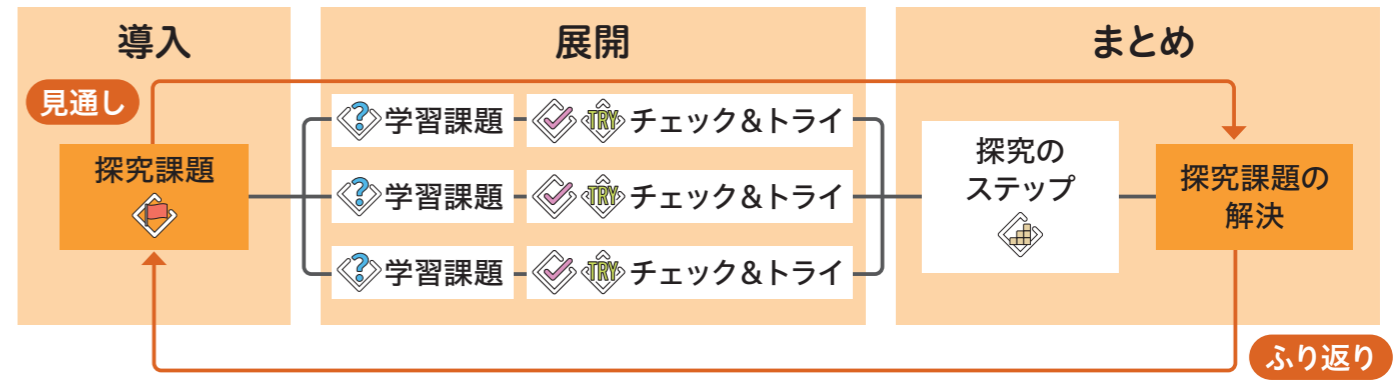
教科書の構成と学びの流れ 6
 特色① 課題解決的な学習にわくわくをプラス! 8
 特色② 紙とデジタルで学びがアップデート! 18
 特色③ 生徒一人一人と社会がつながる教科書 22
 教師用指導書・学習者用デジタル教科書のご案内 28
 観点別特色一覧 30
 単元構成と配当授業時数 35
 代表者のことば

「問い」を中心に課題解決的な学習を実現！

教科書の構成と学びの流れ

単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう、単元を貫く**探究課題**を設定しました。1時間ごとの**学習課題**と探究課題をつなぐ踊り場の問い(探究のステップ)を設けることで、段階を踏んでスムーズに探究課題を解決できる構成になっています。

問いの構造イメージ



課題をつかむ

導入

動機付け 方向付け

導入の活動では、章の学習を通して追究する「探究課題」を設定します。生徒が自ら課題を設定することで、学習の動機付けや学習の見通しの方向付けを行います。



探究課題
章を貫く問い

▶ 本書 p.8~11

課題を追 究する

展開

情報収集 考察

展開では、社会的な事象等の解し、相互の関連を見たり、社 会に見られる課題を把握して 意味や意義、特色について理 解を積み重ねます。



学習課題
1時間の問い

チェック&トライ
1時間のふり返り

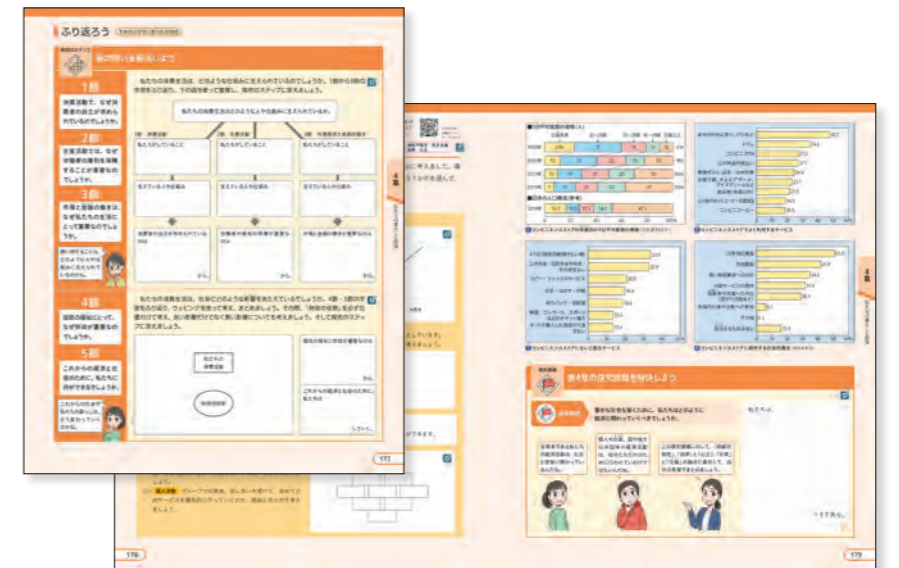
▶ 本書 p.12~13

課題を解決する

まとめ

ふり返り まとめ

これまで学んだことをふり返り、考察したことや構想したことを自 分の言葉でまとめ、「探究課題」の解決に取り組みます。



探究のステップ
節の問いの解決

探究課題
章を貫く問いの解決

▶ 本書 p.14~17

わくわくを誘う 学びの入り口

第1章「現代社会と私たち」では、身近なまちのイラストからスムーズに公民の学習を始められるようにしました。学校やスーパーマーケット、コンビニエンスストア、商業施設など日常生活で利用する場所と教科書のページとのリンクから、生徒の“わくわく”を誘うとともに、**学びの見通し**を持つことができます。

第1章 現代社会と私たち

教科書 p.6~7の 実寸大



導入の活動

T市のまちの様子から 現代社会をながめてみよう

Dマークのあるものは右のコードからデジタルコンテンツにアクセスできます。



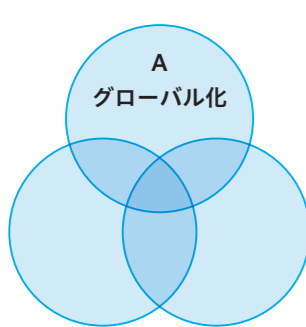
導入クリップ D-ZOOM 活動ツール



みんなでチャレンジ

(1) 1~6は、次のAからCのどれと関係があるか、「ベン図」を使って分類しましょう。

- A グローバル化 (世界のさまざまな国や地域との結び付きが深まること) (p.10~11)
- B 少子高齢化 (生まれる子どもの数が減り、人口に占める高齢者の割合が高まること) (p.16~17)
- C 情報化 (情報通信技術の発達で社会が変化すること) (p.12~13)



ベン図とは?

対象を比較して分類することで、複数の事象の相違点と共通点を挙げることができるツール

- (2) 社会では、持続可能な社会 (p.8~9) の実現に向けてどのような工夫がされているか、イラストから挙げましょう。また、イラストの中に持続可能な社会の実現にあたっての課題がないか探しましょう。
- (3) あなたの住むまちにも見られる現代社会の特色を、イラストから挙げてみましょう。また、これらの特色の中で、自分がより深く調べてみたいと思うものを挙げ、理由を述べましょう。

*イラスト内のページは、教科書の関連ページです。



探究のステップ



導入の活動を通して感じた疑問や気づいた点を整理しましょう。



1 節

私たちの生きる現代社会には、どのような課題があるのでしょうか。

私たちのまちにはどのような課題があるのかな。



2 節

私たちの生活において、なぜ多様な文化を大切にしなければならないのでしょうか。

文化の変化は、私たちの生活にどのような影響をあたえているのかな。



3 節

現代社会の課題を解決するために、どのような見方・考え方が大切にされているのでしょうか。

みんなが気持ちよく生活するためには、どのような方法で課題を解決すればいいのかな。



第1章の探究課題は?

現代の私たちの社会や生活には、どのような特色が見られるのでしょうか。また、現在、私たちの社会ではどのようなことが課題になっているのでしょうか。

第1章では、現代社会の特色や、私たちの生活を形作る文化の意義や影響を理解しながら、現代社会をとらえるための見方・考え方についても学習していきます。

こうした学習を通して、現代社会の課題を解決するために、私たちには何ができるのか、これからの社会をどのように創っていくかを考えるきっかけになるでしょう。そして、第1章での学習を、第2章以降の学習につなげていくことで、自分の考えをより深めることができるでしょう。



探究課題



持続可能な社会の実現に向けて、私たちには何が求められるのでしょうか。

この章のまとめ (p.34~35) では、「T市の公園の使用ルールを考えよう」という活動に取り組みましょう。



課題解決的な学習にわくわくをプラス!

主体的な学びにつながる 導入ページ

単元の導入では、活動を通して、生徒が **主体的に学びに向かえる** ようにしました。
単元を貫く探究課題の設定へスムーズに導き、単元の学習の見通しを持つことができます。



導入ページ①

第4章 私たちの暮らしと経済

左の「ことば」と下の①-③から、小学校と地理・歴史の学習をふり返りましょう。

小学校の社会で習ったことば

- 費用 サービス 資源 リサイクル
- 3R (リデュース・リユース・リサイクル)
- 価格 生産性 税金 貿易 公害 地域貢献

① 小学校

小学校の社会で習ったことばとして掲載しました。また、小学校社会科の教科書に掲載されている資料に「小学校マーク」を付しました。

② 地理

私たちの暮らしや日本の経済は、海外とどのように結びついているのだろうか。

③ 歴史

金融恐慌の取り付け騒ぎ(1927年)

金融恐慌では取り付け騒ぎが起こったように、銀行の役割はどのようなものかな。

129

小学校のふり返り

小学校社会科で学習した用語は「小学校の社会で習ったことば」として掲載しました。また、小学校社会科の教科書に掲載されている資料に「小学校マーク」を付しました。

地理・歴史のふり返り

地理・歴史の教科書に掲載した資料にマークを付しました。

個人活動とグループ活動の相互作用で学びを深める「みんなでチャレンジ」

小集団の協動的な活動コーナーとして「みんなでチャレンジ」を設けました。深い学びにつなげるため、**個人活動**と**グループ活動**を明示しました。

導入ページ②

あなたは、大手コンビニエンスストアに勤める社員で、次期出店計画を立てることになりました。A市、B市、C市のうち1か所にコンビニエンスストアを出店しようと考えています。どこに出店したらよいでしょうか。その際、経営者、客(消費者)、店員(労働者)などさまざまな立場になって考え、できるだけ長く愛される店を目指しましょう。

① 個人活動

あなたは、コンビニエンスストアを出店する資金として500万円を持っています。現時点で出店費用が足りない場合は、補助金の申請や銀行に借りるなどの方法をとって対応する必要があります。

経営者の視点	客(消費者)の視点	店員(労働者)の視点	地域的な視点
学習時間	早期営業開始	学割優待	出店費用の削減
売上の向上	商品の豊富さ	賃金のアップ	環境への配慮
コスト削減	サービスの向上	労働環境の改善	地域との連携

② グループ活動

グループの意見をまとめて、グループで話し合います。

③ 個人活動

グループの意見をまとめて、グループで話し合います。

④ グループ活動

グループの意見をまとめて、グループで話し合います。

⑤ 個人活動

グループの意見をまとめて、グループで話し合います。

130

単元を貫く探究課題の設定場面を対話形式で分かりやすく提示

単元全体を貫く探究課題を、1時間の導入の活動を通して設定します。主体的・対話的な学びから**生徒自身が課題をつかめるよう**、課題設定の場面には対話の例を示しました。

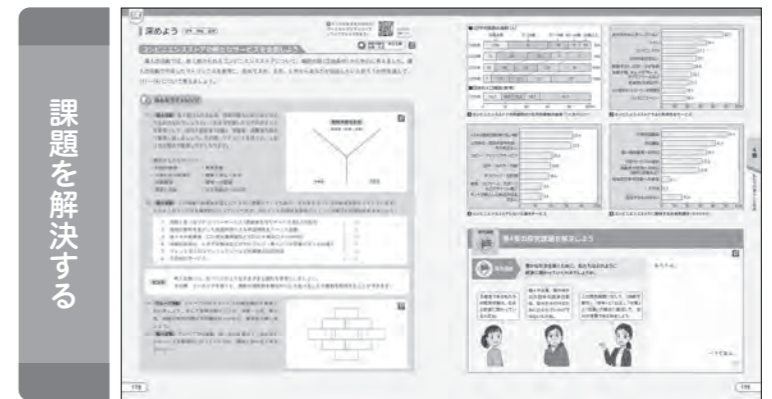
単元の到達目標を示し、見通しを持たせる

導入の活動とリンクしたまとめの活動で、何ができるようになっていけばよいかを明示し、単元の見通しを持たせることができます。

▶ 導入ページのQRコンテンツについては、本書p.18~19をご覧ください。

1時間の学習の流れを「見える化」

本文や資料、「チェック&トライ」、インデックスやQRコードなど、紙面の要素を定位置に配置。学習の流れを「見える化」したことで全ての生徒にとって学習に取り組みやすい紙面にしました。



1時間の学習の流れ

- 1 導入資料** 1時間の課題をつかみきっかけとなる資料を大きく掲載しています。
- 2 学習課題** このページで学習する内容について、見通しを持つことができます。
- 3 本文** 学習内容を分かりやすく文章にしています。重要な用語などは太字で示しています。
- 4 チェック&トライ** 1時間の学習の最後に取り組んで、学んだことをふり返ります。

新設 NEW

生徒の興味・関心を誘うサブタイトル

「売りたい」「買いたい」のバランス

本時の内容の上に、生徒の興味・関心を誘うサブタイトルを設けました。

新設 NEW

QRコードを定位置に掲載!

学習課題やタイトルの隣にQRコードを掲載。定位置に置くことで、迷わずにいつでもQRコンテンツを活用できます。

紙面上はこのマークが目印!



詳しくは、本書p.20~21をご覧ください。

3 節 市場経済の仕組みと金融

1 売りたい「買いたい」のバランス

ケーキ1個 600円である。 → 10個が売れた。

ケーキ1個 200円である。 → 10個で売切れた。

ケーキ1個 400円である。 → 10個と同時に売切れた。

2 価格に関する疑問

正月やゴールデンウィークに、観光地のホテルや旅館の宿泊代が高くなるのはなぜでしょう。

スーパーマーケットなどで、閉店直前に生鮮食品や野菜を値引きするのはなぜでしょう。

同じ仕事でも、昼間より夜のほうが、1時間の賃金が高いのはなぜでしょう。

1 市場経済と価格の決まり方

市場経済において、価格はどう決定されるのでしょうか。

市場経済とは 経済は、生産と消費を通じて、私たちの生活を支えています。家計や企業に労働力を提供し、対価として得たお金で、企業から商品やサービスを購入します。企業も、生産に必要な労働力を家計や材料などをほかの企業から購入します。このように、それぞれの家計や企業は、商品の生産と売買という分業や交換の関係によって、あみの目のように結び付いています。

商品が買われる場を、**市場**(しじょう)といいます。市場(いふ)やデパート、商店なども商品が売られる場ですが、市場(しじょう)という場合は、商店だけではなく、ある商品が売られる場の全体を考えます。例えば、野菜や果物については野菜市場、石油については原油市場で売られていると、大きくとらえます。現代の経済では、こうした市場が生活のすみずみまで行きわたっており、**市場経済**ともよばれます。

需要・供給と価格との関係 商品に値段(価格)が付くのは、希少性があるからです。商品の価格は、消費者の買う量(需要量)と生産者の売る量(供給量)との関係で変化します。

スキル・アップ B 需要量・供給量・価格の関係について考えよう D

ある地域で、ケーキの価格と買いたい量、売りたい量との関係についてアンケート調査を行いました。

(1)買いたい量についてのアンケートでは、表1のような結果が出ました。表1の数値を、グラフ1に折れ線グラフで書き表しましょう。また、「買いたい量(地域の合計)」を表した下のふきだしの、()に当てはまる適切な語句を選びましょう。

【表1】

ケーキ1個の価格	200円	400円	600円	800円
買いたい量(地域の合計)	40個	25個	15個	10個

価格が「高い・低い」とたくさん買いたいけれど、「高い・低い」とあまり買いたくない。

(2)売りたい量についてのアンケートでは、表2のような結果が出ました。表2の数値を、グラフ2に折れ線グラフで書き表しましょう。また、「売りたい量」を表した下のふきだしの、()に当てはまる適切な語句を選びましょう。

【表2】

ケーキ1個の価格	200円	400円	600円	800円
売りたい量(地域の合計)	10個	25個	35個	40個

価格が「高い・低い」とたくさん売りたいけれど、「高い・低い」とあまり売りたいくない。

(3)グラフ1とグラフ2の折れ線グラフを、グラフ3に書き写し、二つのグラフが交わる点の価格がいくらになるか読み取りましょう。そして、その点を均衡価格と書き入れましょう。

【グラフ1】 【グラフ2】 【グラフ3】

商品に対して「買いたい」と思う人がたくさんいる場合、つまり需要量が供給量を上回っている場合には、価格が上がり、その商品の高い希少性が価格に反映されます。一方、商品の量に対して「買いたい」と思う人が少ない場合には、その商品は希少性が低く、価格が下がります。

価格が上下に動くのを見て、消費者も生産者も自らの行動を変化させます。消費者は価格を見て需要量(買う量)を決めます。他方、生産者は価格を見て供給量(売る量)を決めます。価格が上がると消費者は需要量を減らし、生産者は供給量を増やします。反対に、価格が下がると消費者は需要量を増やし、生産者は供給量を減らします。

需要量と供給量が一致すると価格の変化は取まり、市場は需要と供給の均衡が取れた状態になります。需要量と供給量が一致し、市場の均衡が取れた価格を、**均衡価格**といいます。

価格が上下するのはなぜか、「希少性」に着目して説明しよう。

新設 NEW

検索に便利なインデックス

学びのまとめりにインデックスを付け、検索性を高めました。

リニューアル

整理された活動コーナー

1) 実際の量に対して求める人が多いダイヤモンドは、「希少性」が高いといえます(p.133)。この場合、ダイヤモンドの価格は高いか、低いか、考えましょう。

2) 地球上に大量にある空気には価格は付いていません。この場合、空気の「希少性」はどのような状態か、考えましょう。

3) 1)と2)から、「希少性」と価格との関係について、考えたことをグループで話し合いましょう。

小学校の社会科や「スキル・アップ」で身に付けた技能を活用しながら資料を読み取ったり考えたりするコーナーに、🔍を付けました。また、見方・考え方を働かせる視点の例は、🔍で示しました。

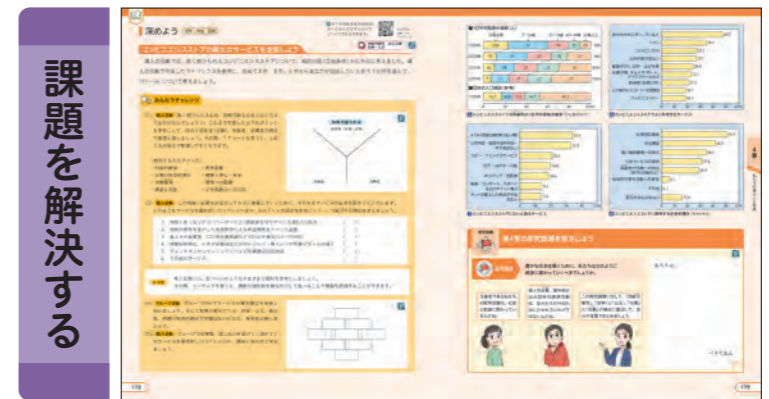
▶ 本書p.23もご覧ください。

▶ 本文ページのQRコンテンツについては、本書p.18~19をご覧ください。

課題解決的な学習にわくわくをプラス!

学びを実感! 学習のまとめ

学習のまとめのページを大幅に見直しました。
段階的に取り組むことで、単元を貫く探究課題の解決につなげます。
問いを軸にした課題解決的な学習によって現代社会の諸課題を捉えることができます。



探究課題解決の流れ

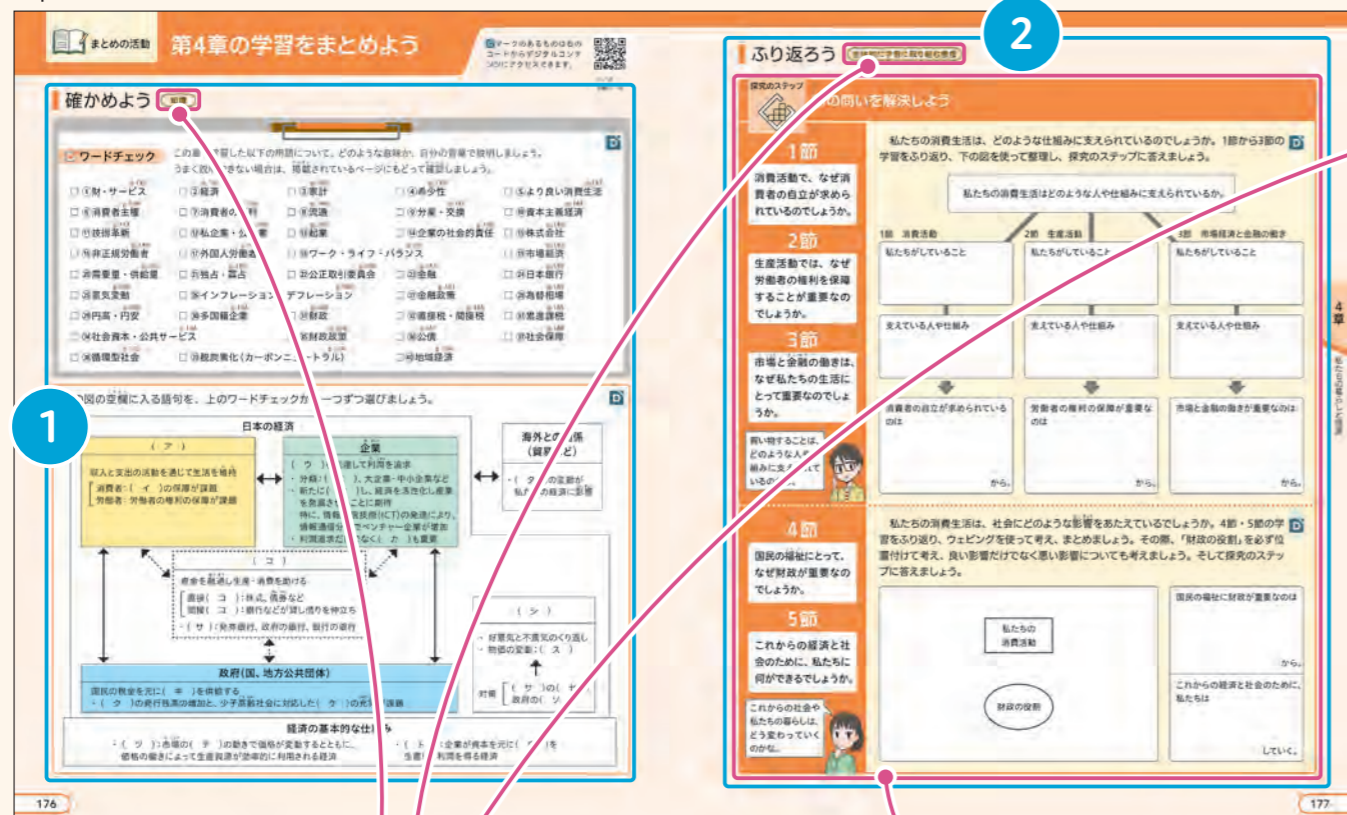
1 確かめよう
単元で学んだ知識を確認します。

2 振り返ろう
節の問い(探究のステップ)に取り組み、
節ごとに学習を振り返ります。

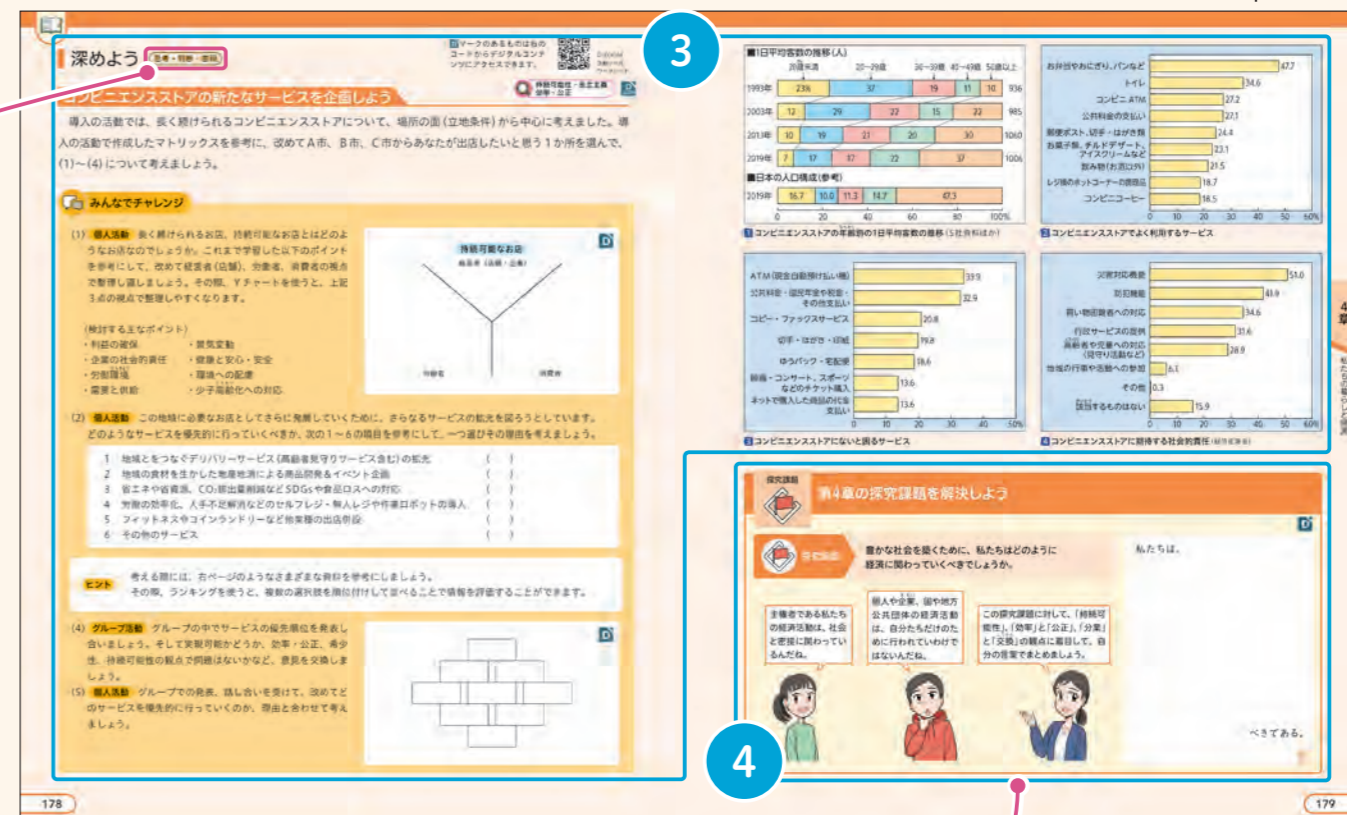
3 深めよう
思考ツールなどを用いて考えを整理し、
探究課題の解決につなげます。

4 探究課題を解決しよう
3でまとめた自分の考えをもとに、探究課題の
解決に取り組みます。

▼ p.176~177



▼ p.178~179



新設
NEW

評価の観点の明示

「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」のアイコンを示し、評価の観点との関連が分かりやすくなりました。

- 知識
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度

リニューアル

探究のステップを積み重ねて章のまとめへ

節の問いを解決しよう

キャラクターの吹き出しをヒントに、思考ツールを使って節のまとめができるコーナーです。ステップを踏むことで、章のまとめ「深めよう」や探究課題の解決にスムーズに向かうことができます。

会話の流れがヒントになる

探究課題を解決しよう

自分の言葉で課題の解決に取り組むコーナーです。キャラクターの会話が解決へと導きます。

▶ まとめページのQRコンテンツについては、本書p.18~19をご覧ください。

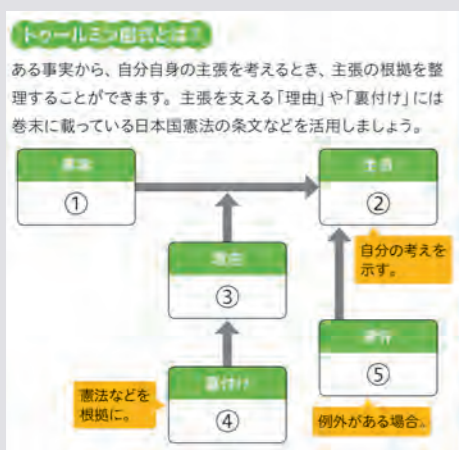
課題解決的な学習にわくわくをプラス!

多様なツールで 思考を整理

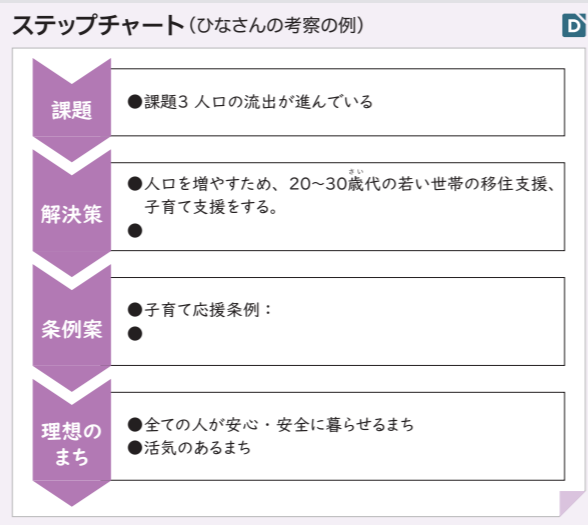
まとめページでは、自らの思考を整理するさまざまなツールを用意しました。紙の教科書とQRコンテンツを組み合わせることで、より多様な活動が展開できるようになりました。



「新編 新しい社会 公民」に掲載の思考ツール



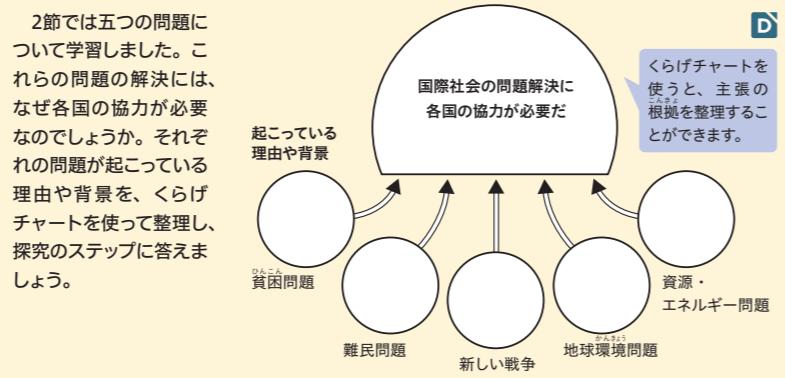
▲ p.72「ツールミン図式」を使った例の解説



▲ p.125「ステップチャート」を使ったまとめの例

教科書に掲載の主な「思考ツール」

教科書ページ	内容
p.9	ウェビング
p.33	ランキング
p.35	座標軸
p.39	マトリクス (表)
p.71	ステップチャート
p.72	ツールミン図式
p.125	ステップチャート
p.130	マトリクス (表)
p.211	くらげチャート



▲ p.211「くらげチャート」を使ったまとめの例

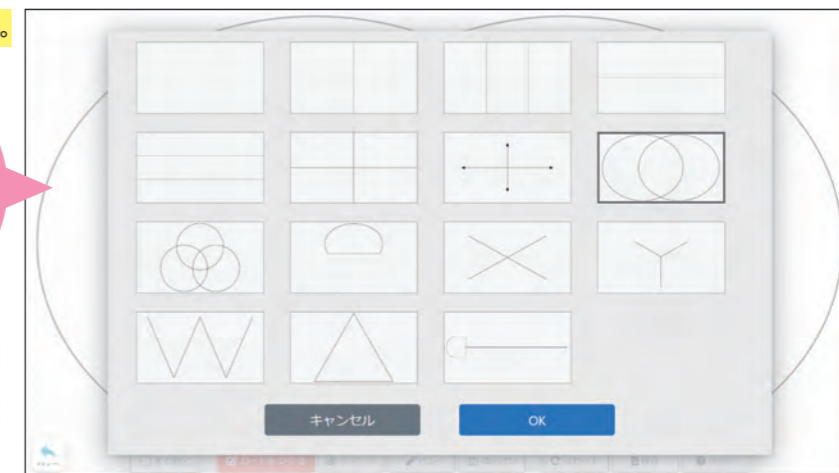
QRコンテンツでも思考ツールが充実!

教科書のQRコードからアクセスできます。教科書に示した思考ツール以外も選択できるので、自分なりの方法で思考を整理することができます。

▶ 本書 p.19も合わせてご覧ください。

使いたい思考ツールを自由に選べる!

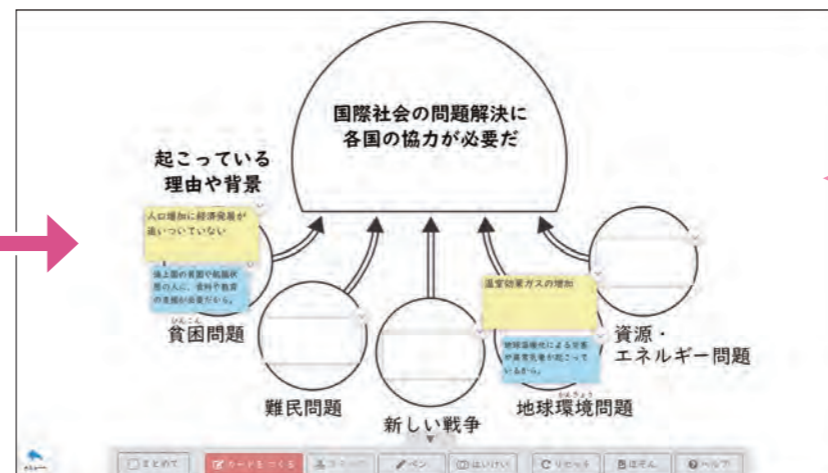
こちらから実際に試せます



付せんのように入力や移動が自在にできる!



こちらから実際に試せます



紙とデジタルで学びがアップデート!

さまざまなシーンに最適なQRコンテンツ

導入・展開・まとめの学習段階に応じて最適なコンテンツを用意しました。
生徒の個別最適な学びや協働的な学びを支えます。

学びのシーンに合った
便利なQRコンテンツが
用意されているのじゃな



導入



QRコンテンツはこちら

学習内容をイメージできる「導入クリップ」や、導入の活動に役立つ「D-ZOOM」など、学習の入口で役立つコンテンツを用意しました。

◀p.129~131

導入クリップ (動画)

授業のレディネスチェックとして、予習のための課題としても活用できます。



D-ZOOM

イラストなどを拡大して見ることができるので、導入の活動にスムーズに取り組むことができます。

展開



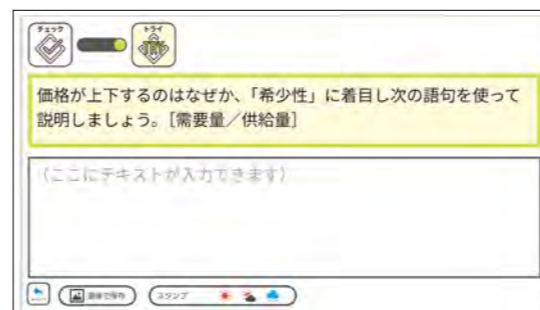
QRコンテンツはこちら

本文ページでは、スキル・アップの解説やNHK for School等の動画、シミュレーションなどのコンテンツを用意しました。

◀p.152~153

チェック&トライ

1時間の授業のまとめとして、学習の振り返りとして活用できます。入力した解答は画像で保存できます。



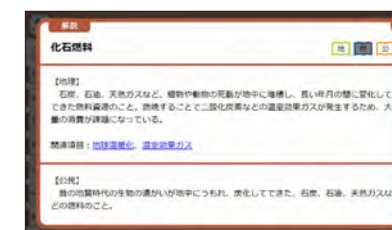
D-MOVE (動画)

インタビュー動画やNHK for schoolなど、授業で活用できる短時間の動画を多数用意しました。全て自社サーバーからの配信なので継続してアクセスでき、安心して活用できます。*教科書の使用期間を想定しています。

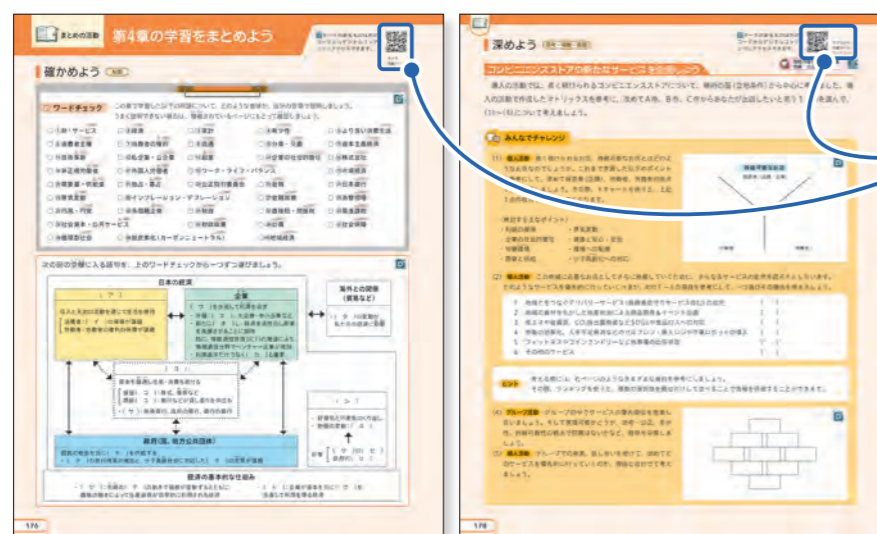


社会科用語マスター

教科書に出てくる用語の詳しい解説を確認することができます。公民の用語だけでなく、地理・歴史の用語も見ることができます。



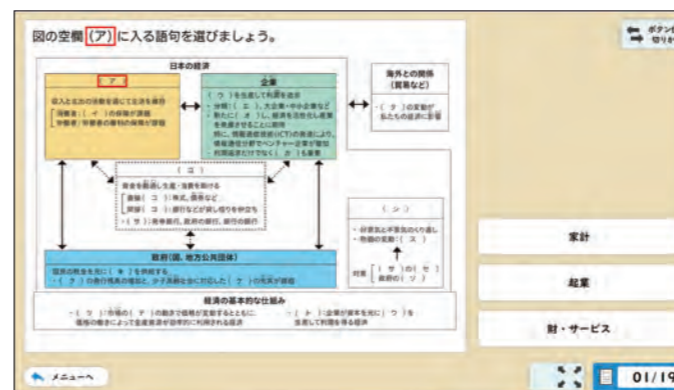
まとめ



QRコンテンツはこちら

まとめページでは、学習の振り返りや思考の整理に活用できる思考ツールなどを用意しました。

◀p.176、178

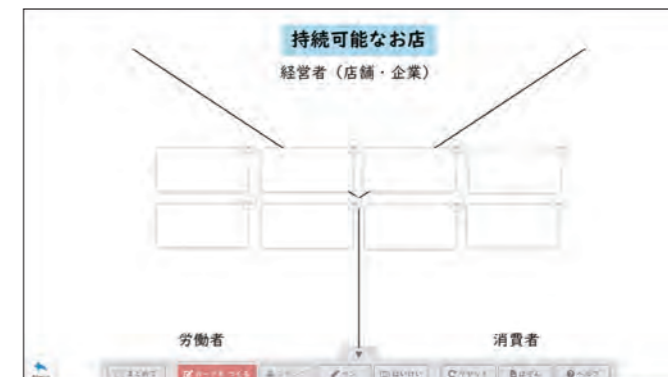


確かめよう (知識の確認)

自分の言葉で用語を説明したり、図解で整理することで知識を確認できます。

深めよう (まとめの活動)

端末を使って自らの考えを入力し、思考ツールで考えを整理することができます。



多彩なQRコンテンツで学びをサポート

紙面上はこのマークが目印!



右のコードから
実際のコンテンツを
見てみましょう!



導入クリップ (動画)



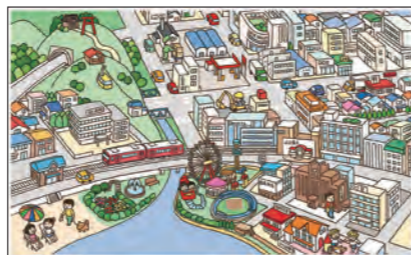
学習の入口に活用できる動画コンテンツです。これからの学習をイメージすることができます。

D-MOVE (動画)



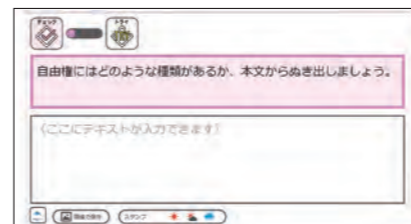
「NHK for school」を中心に、授業中に使える動画を用意しました。全て自社サーバーからの配信なので継続してアクセスでき、安心して活用できます。
*教科書の使用期間を想定しています。

D-ZOOM



教科書に掲載の画像を拡大して見ることができます。

チェック&トライ



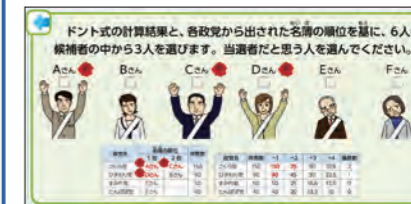
毎時間の「チェック&トライ」の問いに解答を入力できるコンテンツです。解答は画像で保存できます。

なるほど! スキル・アップ (動画)



技能習得コーナー「スキル・アップ」を動画で解説するコンテンツです。

やってみよう! スキル・アップ

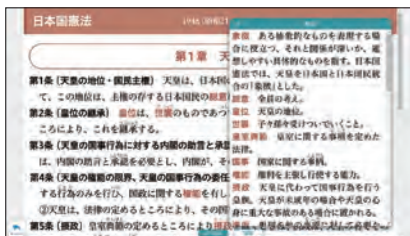


技能が身に付いたか、シミュレーションでくり返し確認できるコンテンツです。

★イチオシ

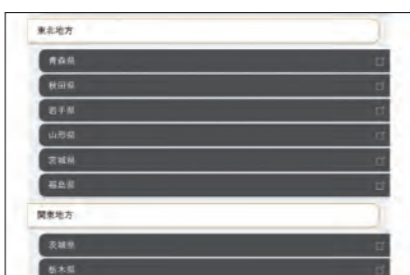
特色
2

参考法令集



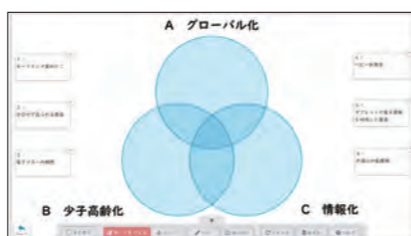
QRコードにアクセスするだけで、教科書の記述に関連した法令等を確認することができます。

公民の学習に役立つリンク集



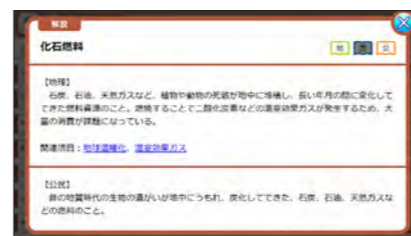
公民学習に関連したウェブサイトのリンク集です。関係機関や統計資料などを生徒が自分で調べるのに役立ちます。

活動ツール 思考ツール



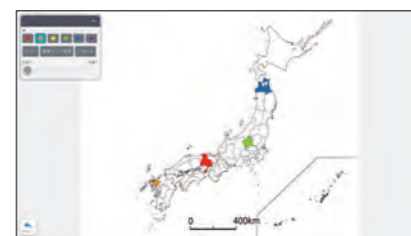
導入の活動やまとめの活動など、自分の考えをまとめたり深めたりするのに役立つ思考ツールを多数用意しています。

社会科用語マスター



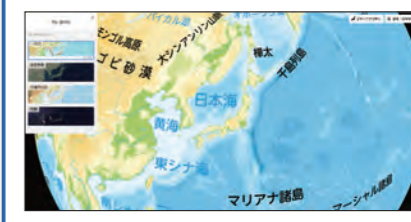
社会科(地理・歴史・公民)で学習する用語の詳しい解説を見ることができます。関連用語もワンクリックで確認でき、教科書の編集委員監修なので、安心して活用できます。

白地図をぬってみよう (世界・日本)



ワンクリックで簡単に色を塗ったり消したりできる白地図です。世界地図と日本地図があります。

My Globe

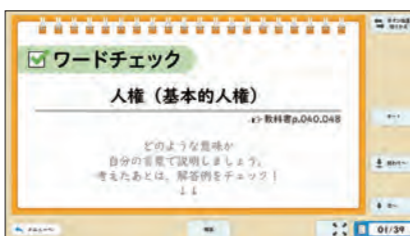


拡大・縮小や回転といった操作が簡単かつ自在にできるデジタル地球儀です。

参考法令集一覧

- 日本国憲法
- 大日本帝国憲法
- フランス人権宣言
- 民法
- こども基本法
- 同和対策審議会答申
- 人権教育・啓発推進法
- アイヌ民族支援法
- 男女雇用機会均等法
- 男女共同参画社会基本法
- 育児・介護休業法
- 障害者基本法
- 教育基本法
- 環境基本法
- 情報公開法
- 地方自治法
- 製造物責任法
- 消費者基本法
- 労働基準法
- 労働組合法
- 独占禁止法
- 老人福祉法
- 日米安全保障条約
- 子どもの権利条約
- 世界人権宣言
- 国際人権規約
- 人種差別撤廃条約
- 国際連合憲章
- 持続可能な開発のための2030アジェンダ

活動ツール ワードチェック



学習した用語を理解できたか確かめることができるコンテンツです。

活動ツール 探究のステップ



思考ツールを使った節単位のスモールステップで、探究課題の解決へスムーズに導きます。

D-MOVEの例

- 思考ツールの使い方
- 情報化とは
- 沖縄の文化を守る取り組み
- アイヌ民族の伝統的な舞踊
- 日本国憲法とは
- 新しい人権
- マスメディアと世論
- 国会
- 内閣総理大臣の指名
- 内閣の仕事とは
- 裁判員制度
- 地方自治とは
- 契約と消費者問題
- 株式会社の仕組み
- 外国為替(円高・円安)
- 社会保障制度とは
- 領土・領海・領空
- 地球環境の悪化
- 聖地エルサレム
- 米軍基地と沖縄

教科書からアクセスできるQRコンテンツ

内容	コンテンツ数
動画 (NHK for school、導入 clip、なるほど!スキル・アップを含む)	68
チェック&トライ	76
思考ツール	33
ワークシート	20
他分野・他教科リンク	24
D-ZOOM	7
参考法令集	1
社会科用語マスター	1
その他	102
合計	332

一人一人の資質・能力を育てる工夫



主権者意識を高め、主体的に社会に参画する態度を養う 「18歳へのステップ」

3年後、18歳になり成年として主体的に社会参画するための準備として「18歳へのステップ」を設けました。生徒の興味関心を高める身近で具体的な場面から、憲法・政治・経済をとらえ、主権者意識・消費者意識の醸成を促します。

▼ p.60~61 「18歳でできること、20歳でできること」

新設
NEW

18歳でできること、20歳でできること

日本では、成年年齢は従来20歳とされてきましたが、若者の社会への積極的な参画を促すなどの観点から、2022（令和4）年4月に18歳に引き下げられました。しかし、従来「大人」にのみ認められていたことが、18歳でできるようになったわけではありません。以下のクイズに答えてみてください。

Q1 結婚することができるのは何歳からでしょうか。

18歳 or 20歳

Q2 タバコを吸ったり、お酒を飲んだりしてもよいのは何歳からでしょうか。

18歳 or 20歳

Q3 公認会計士や司法書士、医師、薬剤師などの資格取得が可能なのは何歳からでしょうか。

18歳 or 20歳

Q4 競馬でお金をかけることができるのは何歳からでしょうか。

18歳 or 20歳

Q5 裁判員制度で裁判員に選ばれるのは何歳以上の人でしょうか。

18歳 or 20歳

Q1 結婚できる年齢は、男女とも18歳とされています。従来20歳未満での結婚は可能でしたが、未成年者の婚姻には父母の同意が必要でした。成年年齢が18歳となり、この父母の同意要件は廃止されました。

Q2 20歳未満者の飲酒や喫煙を禁じる法律の規定は、改正されていません。これは、飲酒・喫煙が若者の健康に与える影響を考慮しているからです。18歳になったからといって、飲酒・喫煙を始めてはいけません。

Q3 未成年者は公認会計士や司法書士にはなれないと法律で定められています。成年年齢の引き下げにともない、今では18歳になればこれらに就けます。とはいえ、18歳で専門の試験に合格するのはとても難しいでしょう。

Q4 競馬など公営されたけがごとでお金をかけられるのは20歳になってからという法律の定めは、改正されませんでした。つい熱くなって大金を失ってしまったり、思わぬ犯罪に巻き込まれる危険から若者を守るためです。

Q5 裁判員は、18歳以上の国民から抽選で選ばれます。法律の定める理由がある者以外は、辞退することができません。成人にすると、人を責め責めを負う可能性があるわけですから、公民の熟慮は重要です。

p.60 61

リニューアル

対話的な活動で学びを深める 「みんなでチャレンジ」

学習のさまざまな場面で対話的な活動を促すコーナーです。対話から他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整していくことで、主体的に学習に取り組む態度を養います。

計30か所

みんなでチャレンジ インクルージョンについて考えよう

インクルージョンとは、さまざまな人が認め、関わる全ての人々が参加して支え合うことを指します。そのためには、バリエーションの取り組みも重要です。

①右のイラストで、バリエーションになっているところはどこか、読み取りましょう。

②インクルーシブな社会を実現するために私たちは何を付けないといけないか、右のイラストを参考にグループで話し合ってみましょう。

③校内や学校周辺で、改善すべきところを話し、校内案内図や地図などに記入しましょう。

※障がいのある人や高齢者などが、社会の中で安全・快適に暮らせるよう、身体的、精神的、社会的な障壁（バリア）を取り除こうという考え。

▲ p.53 みんなでチャレンジ「インクルージョンについて考えよう」

公民の学習に必要な技能を確実に定着させる 「スキル・アップ」

公民の学習に欠かせない技能を身に付けるコーナーです。Dのアイコンがあるスキル・アップでは、QRコンテンツ「なるほど！スキル・アップ」(動画)や「やってみよう！スキル・アップ」(シミュレーション)をご用意。動画を見て端末を操作することで楽しく技能を身に付けられます。

計9か所

- 「スキル・アップ」に関連するQRコンテンツ動画 17か所
- シミュレーション 3か所

p.83 スキル・アップ2
選挙シミュレーション

動画で学んで、自分で端末を使ってみる



ドント式の計算結果と、各政党から出された名簿の順位を基に、6人の候補者の中から3人を選びます。当選者だと思える人を選んでください。

Aさん

Bさん

Cさん

Dさん

Eさん

Fさん

政党名	名簿の順位	得票数	政党名	得票数	-1	-2	-3	-4	議席数
さくら党	Aさん	150	さくら党	150	150	75	50	37.5	2
ひまわり党	Bさん	90	ひまわり党	90	90	45	30	22.5	1
すみれ党	Cさん	50	すみれ党	50	50	25	16.6	13.5	0
たんぽぽ党	Dさん	40	たんぽぽ党	40	40	20	13.3	10	0

18歳へのステップ 選挙の流れ

▼ p.138~139 「契約と支払い方法のあれこれ」

投票所で投票する

投票所では、投票用紙を封筒に入れ、秘密を守るようにして投票します。

投票用紙には、候補者の名前と、投票の意思を示すためのマークがあります。

契約と支払い方法のあれこれ

契約とは、当事者間で約束することです。契約には、法的な拘束力があります。

支払い方法は、現金、クレジットカード、口座振替などがあります。

▲ p.90~91 「選挙の流れ」

リニューアル

学びを深める 「見方・考え方マーク」

個人尊重

社会の安全のために使われる防犯カメラの設置に賛成か反対か、プライバシーの権利という「個人の尊重」の観点から考えましょう。

▲ p.84

見方・考え方を働かせる活動には「見方・考え方マーク」とその例を付しています。見方・考え方を効果的に働かせることで、より深い学びにつながります。

新設
NEW

重要な用語を丁寧に解説 「もっと解説」

もっと解説 国内総生産 (GDP)

国内総生産 (GDP) は、ある国や地域の中で一定期間に生産された、財やサービスの付加価値の合計です。似た指標に国民総所得 (GNI) がありますが、これは、その国や地域の内外にかかわらず、国民や住民が一定期間に得た所得の合計です。国民総生産 (GNP) も GNI とほぼ同じ指標です。

▲ p.174

難しい用語を理解できるように、詳しく解説するコーナーを新設しました。

今と向き合い これからのを考える教科書



東京書籍が大切にしてきた「5つのテーマ」

「新編 新しい社会」は、現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度を育成するために、地理・歴史・公民の分野の枠をこえて貫く「5つのテーマ」を大切にしています。

▶ 本書 p.34「現代的な諸課題と教材の対照表」もご覧ください。

巻頭1～巻頭2 ▶

環境 エネルギー ▲ p.202

防災 安全 ▲ p.126

情報技術 ▼ p.14

伝統 文化 ▲ p.36

人権 平和 ▲ p.214

分野や教科の垣根をこえて 「これからの社会のあるべき姿」を考える

社会科の3分野や他教科でも扱う学習内容には、分野関連と教科関連を示す④を示しました。また、小学校社会科で学習した内容にも④小学校を示し、小学校との関連を図っています。

▼ 公民 p.186～187「領土をめぐる問題の現状」

他分野や他教科の関連ページの教科書紙面がQRコードからアクセスできます!

▲ 地理「北方領土・竹島と尖閣諸島」

▲ 歴史「領土をめぐる問題の背景」

これからの社会をともに考える

コラム「未来にアクセス」

未来にアクセス 自転車の安全な利用を目指して—福岡市の自転車安全利用条例—

自転車は気軽に利用でき、二酸化炭素を排出しない、環境に優しい乗り物です。しかし、近年では、自転車が増えるにつれて、交通事故が増加しており、大きな課題になっています。これを受けて、2003年の東京都板橋区に始まり、多くの市区町村で自転車の安全利用についての条例が定められています。福岡市でも、2012年まで自転車の事故が年間3000件以上も発生していました。なかでも自転車と歩行者と衝突する事故が増加しており、自転車利用者のルールやマナーへの意識の低さが課題になっていました。そこで、福岡市は、市民に自転車を安全に利用してもらうために、「福岡市自転車の安全利用に関する条例」を、2013年から施行しました。この条例は全国で初めて、人通りが多く混雑する中心市街地に「おし歩き推進区間」を設けることを定めました。おし歩き推進区間では、指導員が巡回して自転車をおして歩くよう指導しています。条例ではほかにも、自転車事故に備える保

険への加入の努力を義務にしたり、中学生以下の子どもにヘルメットをかぶらせるよう保護者に求めたりしています。自転車の利用者のマナーを向上させることが目的のため、罰則はありません。こうした条例の制定は、全国に広がっており、自転車が公道を安全に走行できるよう、自転車道などを設けている所もあります。

③ 自転車おし歩き推進区間の様子(福岡市 2016年)

持続可能な社会の実現に向けて、各地で見られるさまざまな取り組みから考えるきっかけとなるコラム「未来にアクセス」を新設しました。

▶ p.115 未来にアクセス 「自転車の安全な利用を目指して—福岡市の自転車安全利用条例—」

他教科との関連

■ QRコードからアクセスできる他教科の紙面

公民教科書	教科・分野	関連する学習内容
p.12	技術	情報モラル
p.20	道徳	花火と灯ろう流し
p.20	家庭	地域の食文化
p.118	理科	自然災害と地域のかかわりを学ぶ
p.126	理科	地震に備えるために
p.126	保健体育	自然災害による傷害の防止
p.138	家庭	消費者トラブルとその対策
p.172	家庭	エシカル消費

◀ 家庭「エシカル消費」

家庭

誰一人取り残されない学びのために

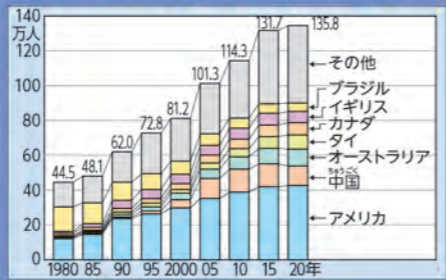
一人一人にとって使いやすく学びやすい教科書であることを、東京書籍は大切にしています。
多様に配慮し、誰一人取り残されない学びのために、あらゆる工夫をしています。

資料掲載部分に背景色を入れて 本文部分との区別を明確に

資料の掲載部分に薄い色を付けることで、本文との区別を視覚的に分かりやすくしました。



- 1 アメリカのプロ野球リーグで活躍する選手(アナハイム 2022年)
- 2 理科を教える青年海外協力隊の隊員(マラウイ 2014年)
- 3 パックの駆除にたずさわる研究者(モーリタニア 2011年)



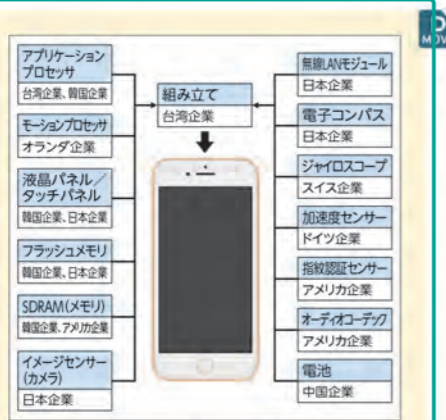
- 4 海外で暮らす日本人の数の推移(「海外在留邦人数調査統計」令和4年ほか)

外国で活躍する日本人

2 結び付きを深める世界

グローバル化

学習課題 グローバル化の進展で、私たちの生活や社会はどのように変化してきているのでしょうか。



5 あるスマートフォンの部品の生産地と組み立て地

- (1) 5の生産国の位置を地図で確認し、地域的な広がりの特徴を考えましょう。
- (2) 10のグラフのように、日本の食料自給率が低下した理由を考えましょう。
- (3) グローバル化や国際分業が進んだ理由を考えましょう。

グローバル化とは
グローバル化とは、人や物、お金や情報などの移動が、国境をこえて地球規模に広がっていくことをいいます。交通網や交通手段の発達により、海外と日本との間での人や物の行き来も非常に容易になりました。私たちの身の回りの物を調べると、さまざまな国で作られていることが分かります。航空機や大型コンテナ船などの活用によって、以前より速く大量の物を運べるようになりました。その結果、貿易が盛んになり、私たちは外国の商品を簡単に手に入れることができるようになっています。このように、近年ではグローバル化によって世界の一体化がますます進んでいます。

グローバル化による社会の変化
世界が一体化するにつれて、商品を簡単に輸出入できるようになり、自国の商品と輸入した商品との間や、異なる国から輸入した商品の間で、より良い商品をより安く提供し、より多く売り上げようとする国際競争が激しくなります。また、それぞれの国が競争力の強い産業に力を入れ、競争力の強い産業については他国にたよる国際

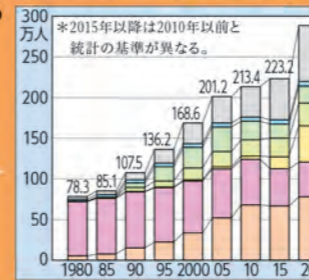
新設 QRコードを定位置に掲載！
学習課題やタイトルの隣にQRコードを掲載。定位置に置くことで、迷わずにいつでもQRコンテンツを活用できます。

▶ QRコンテンツは、本書 p.20~21 をご覧ください。

- 6 介護施設で働くベトナム出身の介護福祉士(東京都大田区 2014年)
- 7 外国籍の子どもへの教育支援(浜松市 2019年)
- 8 工場で働く外国人(栃木県栃木市 2016年)



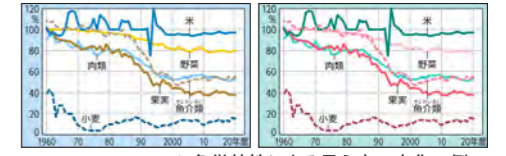
- 9 日本で暮らす外国人の数の推移(法務省資料)



日本で暮らす外国人

カラーユニバーサルデザインに全対応

- 専門家の助言をもとに色覚特性の観点から紙面や図版を見直し、カラーユニバーサルデザインに全面的に対応しました。
- グラフや地図は、色覚特性のある生徒でも見分けられる色の組み合わせを採用しました。



▲ 色覚特性による見え方の変化の例 (左: 1型2色覚、右: 3型2色覚)



分業も行われるようになります。その結果、効率化が進んで産業の発展をうながしたり、人材、知識、技術などの国境をこえたやり取りが活発化することで科学技術がいつそう発展したりすることにつながります。一方で、自国の商品だけでは生活が成り立たなくなり、各国がたがいに依存する状態になっています。これにともなって、さまざまな分野で、国際協力がますます必要とされるようになっています。

グローバル社会の課題 このように、グローバル化は私たちの生活を便利にする一方で、課題も生みだします。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行(パンデミック)は、グローバル化にともなって生じる課題を改めて私たちに実感させました。世界的に、豊かな国々と貧しい国々との格差も広がっています。SDGs(持続可能な開発目標)は、そうした不平等や格差など、一国だけでは解決し得ない国際的な課題を、各国が協力して解決していこうとする取り組みです。こうした中で、国際社会での日本の役割もますます重要になっています。

また、グローバル化によって日本でも、異なる文化を持つ外国人などの存在が身近になってきています。こうした人々とも、たがいを尊重し合い、共生できる社会が求められています。

グローバル化の進展で、生活や社会が豊かで便利になった点や課題を説明しましょう。



10 日本の品目別自給率の推移(食料供給表) 令和2年度ほか) 上の品目別の自給率は重量ベース。カロリーベースで日本の率を計算すると、約37%です(2020年度)



11 新型コロナウイルス感染症対策のための規制を受けて閉鎖としたニューヨークの中心街(アメリカ 2020年)

全ての文字を読みやすく

教科書の全ての文字に、字形を判別しやすく、読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を採用しました。

学習者用デジタル教科書では、文字の色や大きさ、行間などを読みやすいよう調整したり、写真や図版などを拡大したりすることができます。また、本文を読み上げたり、総ルビ・分かち書きで表示したりするなど、特別支援教育に対応しています。

▶ 本書 p.29 もご覧ください。

学習に集中できるフラットデザイン

不要な陰影や立体感のあるデザインをなくし、シンプルなデザインにしました。

重量負担への配慮

QRコンテンツへの移行や学習内容の見直しなどによって、教科書の総ページ数を16ページ削減し、約5.6%の総重量の軽量化を実現しました。

▲ p.10~11

大きく見直し、サポートを充実!

教師用指導書のご案内

指導編(朱書)を新規発行し、サポートを大幅に充実させます。経験の浅い先生も安心してご指導いただけます。

指導編(朱書) **NEW**

指導編(朱書)クラウド配信版 **NEW**

- 教科書の展開に沿って、学習の流れや本時の要点、QRコンテンツの活用のポイントなどが分かります。
- 教科書と同じ表紙・体裁で、授業中にも活用できます。
- 端末で利用できるクラウド配信版を用意いたします。校内フリーライセンスです。

研究編

- 教科書掲載資料の授業での活用方法や詳しい解説が分かります。
- 単元ごとの「問いの構造図」を掲載します。

教師用指導書ラインアップ(予定)

- 指導編(朱書)
- 指導編(朱書)クラウド配信版
- 研究編
- 指導書コンテンツライブラリー
- 指導者用デジタル教科書(教材)

※本ページで紹介している製品は企画中のため、内容・仕様が変更になる場合があります。

指導書コンテンツライブラリー

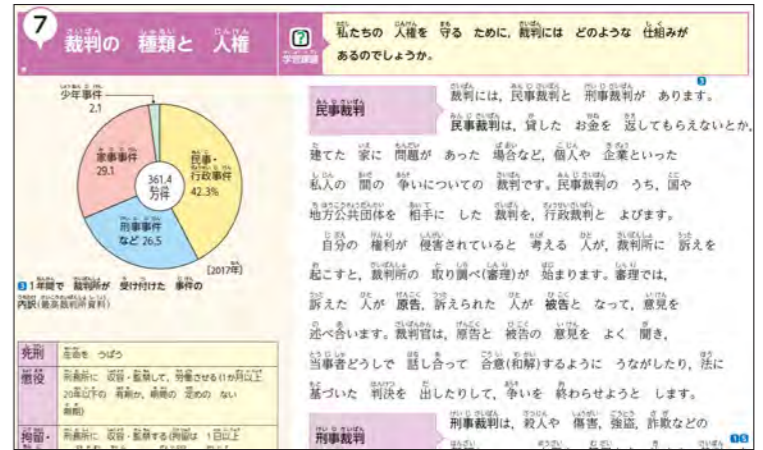
これまで教師用指導書付属DVD-ROMで提供していたコンテンツをウェブサイトで配信いたします。

〈配信予定コンテンツ〉

- 評価問題
- 年間指導計画案
- 「本時の要点」テキストデータ
- ワークシート
- 教科書本文テキスト
- 教科書図版集
- 総ルビ・分かち書きの教科書紙面
- 白地図データ
- 指導書付属「My Globe」(デジタル地球儀)

そのほか、Google Workspace for Education や Microsoft Teams で利用できるコンテンツを配信予定です。先生方の授業をサポートできるよう、コンテンツは随時更新していきます。

※Google、Google Workspace for Education は、Google LLC の商標です。
※Microsoft、Microsoft Teams は、マイクロソフトグループ企業の商標です。



▲ 総ルビ・分かち書きの教科書紙面(令和3年度 中学校「新しい社会 公民」)

指導者用デジタル教科書(教材)

教師用指導書同梱購入可能

電子黒板を使用した指導に最適な掲示型教材です。写真やグラフなど、教科書の「見せたいところ」をクリックするだけで提示でき、教科書のQRコンテンツなどにもリンクできます。

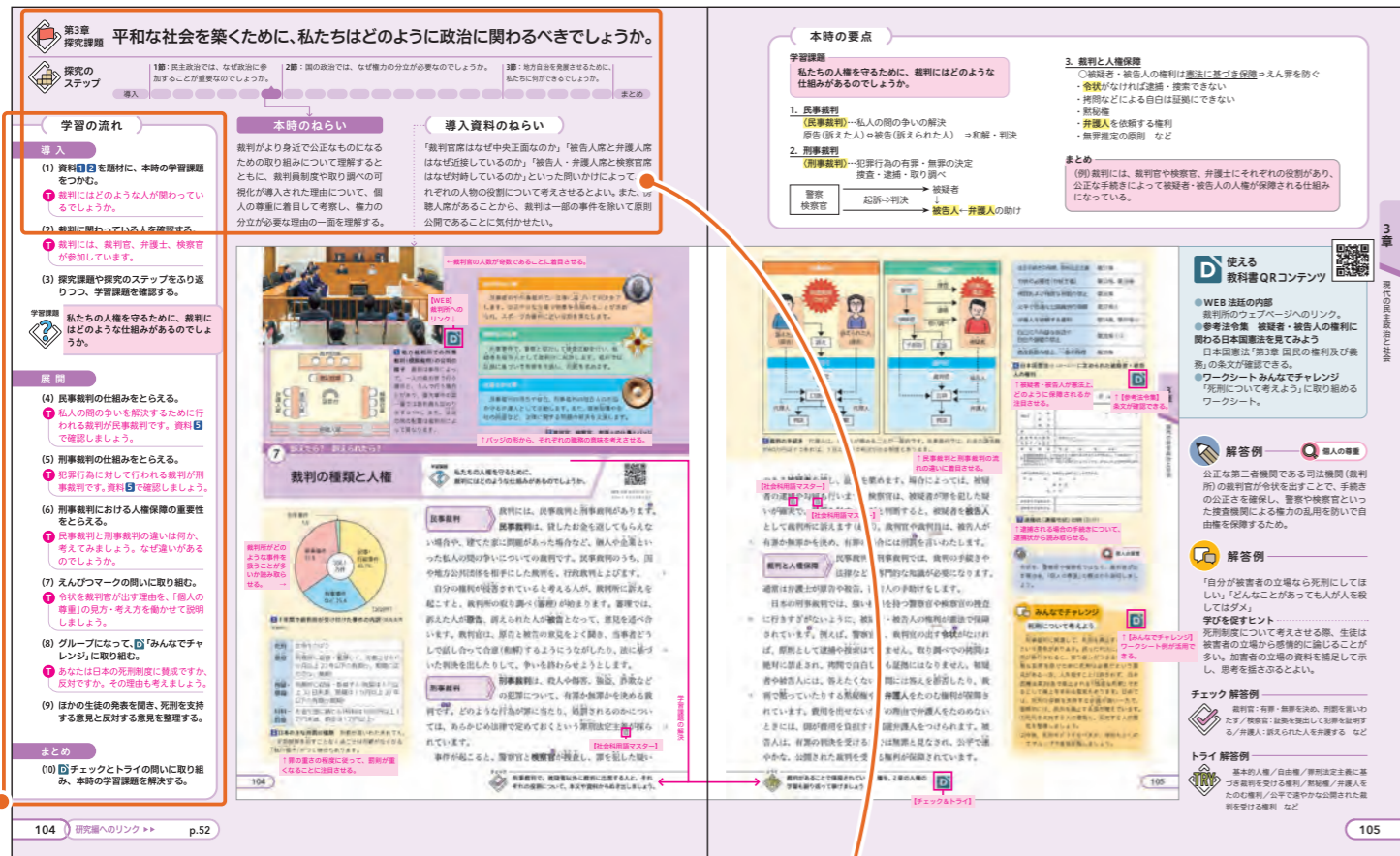
〈主な搭載機能・コンテンツ〉

- マスク表示
生徒から引き出したい教科書の内容(既定)に、マスクを表示することができます。
- MY教科書エディタ
教科書のテキスト、写真、図版などを自由に取りこんでレイアウトできるほか、テキストのアレンジやお持ちの写真データを貼り付けて、オリジナルの教材を作ることができます。
- 指導者用オリジナルの図版コンテンツや動画コンテンツ
- 教科書のQRコンテンツ



▲ 指導者用デジタル教科書(教材)の画面イメージ

▼ 指導編(朱書)の紙面イメージ



学習の流れ

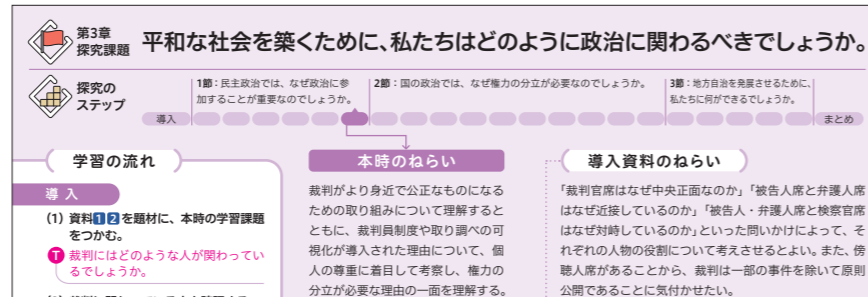
学習の流れ

生徒が主体となる学習活動に沿って、教師の発問例を示しています。

- 導入
- (1) 資料1を題材に、本時の学習課題をつかむ。
 - (2) 裁判にはどのような人が関わっているのでしょうか。
 - (3) 裁判には、裁判官、弁護士、検察官が参加しています。
 - (4) 探究課題や探究のステップをふり返りつつ、学習課題を確認する。
- 展開
- (1) 民事裁判の仕組みをとらえる。
 - (2) 私人の間の争いを解決するために行われる裁判が民事裁判です。資料5で確認しましょう。

探究課題・本時のねらい・導入資料のねらい

単元を貫く問いを常に意識できるよう、探究課題を示しています。また、1時間ごとの目標を示す「本時のねらい」と、「導入資料のねらい」を示しています。



学習者用デジタル教科書

1 複数の教科書を一括管理

東京書籍をはじめ複数の発行者などが採用しているビューア「Lentrance Reader」を用いています。さまざまな教科書を一括管理でき、教科横断的な学習に便利です。

2 学習を支える便利な機能

教科書に、ペンツールで自分の考えを書き込んだり、ウェブ上の参考資料へのリンクを貼り付けたりすることができます。また、教科書のQRコードをクリックして連携するコンテンツを利用することができます。

3 特別支援教育への対応

文字の色や大きさ、行間などを読みやすいよう調整したり、写真や図版などを拡大したりすることができます。また、本文を読み上げたり、総ルビ・分かち書き紙面に切り替えることができるので、生徒一人一人が自分の読みやすい教科書にカスタマイズできます。

※Lentranceは、日本国、米国、及びその他の国における株式会社Lentranceの登録商標または商標です。

教育基本法との対照表

各種資料をこちらからダウンロードできます。



教育基本法 第2条	『新編 新しい社会 公民』の内容の特色	教科書の該当箇所
第1号： 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健全な身体を養うこと。	● 学習の導入部に、生徒の興味・関心を引き出す活動や大きなイラストを設け、主体的な学びを促すとともに、真理を求める態度を養えるようにしました。 →本書 p.8-11 参照	全体 (特に p.6-7、130-131)
	● 単元は問いによって構造化されており、単元を貫く課題（探究課題）、各見開きの「学習課題」と「チェック&トライ」の解決を通して、課題解決的な学習ができるように構成されています。 →本書 p.6-7 参照	全体
	● 本文は、丁寧で分かりやすく、事象の背景や因果関係を例示を交えて説明することで、社会的な事象を捉えて幅広い知識と教養が身に付けられるようにしました。	全体
	● 「現代社会の見方・考え方」を働かせた「深い学び」が実現できるよう、第1章や各単元の学習の冒頭で「見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるようにしました。 →本書 p.12-13、23 参照	p.9、24-31、41、80、133、142 など
第2号： 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	● 「スキル・アップ」コーナーを設け、写真・地図・グラフといった資料の読み取りや、調査や分析の手法などの技能を生徒自らが身に付けることで、社会的事象を読み解く能力を伸ばし、自主と自律の精神を養えるようにしました。 →本書 p.23 参照	p.45、83、103、147、153、163 など計9か所
	● 第3章3節「みんなでチャレンジ 政治参加をしてみよう」では、地理・歴史で身に付けた聞き取り調査などの技能を生かしてインタビュー調査をしたりインターネット調査をしたりする例を示し、主体的に社会に関わる意識や態度を養えるようにしました。	p.120-121 など
	● 日本や世界の各地で活躍する人のインタビューを取り上げ、社会に参画する意識を高め、勤労を重んじる態度を養えるようにしました。	p.50、69、106、118、145、169、197 など
	● 第4章2節「生産と労働」では、株式会社の仕組みを図解で分かりやすく示し、起業の重要性や多様化する労働の在り方、ワーク・ライフ・バランスなどについても丁寧に説明することで、勤労観を養えるようにしました。また、様々な職業を提示したり、キャリアデザインについて考える活動コーナーを設けたりすることで、自身の将来の職業選択について主体的に考えられるようにしました。	p.142-151
第3号： 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	● 色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や、色以外の情報で見分けやすいデザインを全面的に採用したほか、使用する全ての文字を誰もが読みやすいように改善された「ユニバーサルデザインフォント」とし、不要な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を取り入れたことで、様々な特性を持つ生徒の価値を尊重するとともに、その能力を伸ばせるようにしました。 →本書 p.26-27 参照	全体
	● 第1章3節「現代社会の見方や考え方」では、私たちが生きる社会集団では、様々な対立を合意に導く努力で平和な生活が成り立つことを丁寧に説明し、対立を合意に導く際の「効率」や「公正」の見方・考え方を具体的に身近な事例をもとに身に付け、活用できるようにすることで、主体的により良い社会の形成に寄与する態度が養えるようにしました。	p.24-31
	● 第2章「個人の尊重と日本国憲法」では、基本的人権や平等権を具体的な事例とともに取り上げ、個人の尊重の大切さや男女平等の社会を目指すために必要なことなどを理解できるようにすることで、より良い社会の発展に寄与する態度を養えるようにしました。	p.48-53、76
	● 「みんなでチャレンジ」コーナーを随所に設け、活動を通して他者の考えを尊重しながらグループで対話したり、協力しながら活動する場面を示すことで、自他の敬愛と協力を重んじる態度を育成できるようにしました。 →本書 p.23 参照	p.9、55、72、108-109、120-121、130-131、147、209 など多数
第4号： 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	● 「インタビューコラム」を随所に設け、実際に社会に参画している人々の生き生きとした姿から、自らの生き方やキャリア形成について考えられるようにし、生徒の勤労観を養えるようにしました。	p.69、145、169、197 など
	● 終章「より良い社会を目指して」では、「持続可能な社会を実現するために、地域の課題解決に貢献し、地域社会にどのように関わるか」という視点から、魅力のある地域づくりに注目したり、まちの魅力を高めるために自分にできることを考える活動を充実させることで、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるようにしました。	p.216-223
	● 全編を貫く5つのテーマの1つとして「環境・エネルギー」に関する題材を積極的に扱うとともに、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）を取り上げ、環境保全に寄与する態度を高められるようにしました。	全体
	● 第4章1節「消費生活と経済」では、自立した消費者として、資源やエネルギーを使っていることへの自覚を促し、資源の節約や環境への配慮を心がけることへの理解を深めることで、自然環境への意識を高められるようにしました。	p.136-137 など
	● 第4章5節「これからの経済と社会」では、公害問題やその対策、循環型社会、脱炭素化などについて丁寧に説明することで、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。	p.172-175 など
	● 第5章2節「さまざまな国際問題」では、地球環境問題や資源・エネルギー問題を豊富な統計資料や再生可能エネルギーの写真とともに取り上げ、限られた資源への理解を深めるとともに、環境保全への意識と自然を大切にすることを養えるようにしました。	p.198-203 など

教育基本法 第2条	『新編 新しい社会 公民』の内容の特色	教科書の該当箇所
第5号： 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	● 全編を貫く5つのテーマの1つとして「伝統・文化」に関する題材を積極的に取り上げ、我が国の伝統文化への理解を深めるとともに、他国の文化を尊重する意識や態度を養えるようにしました。	全体
	● 第1章2節「私たちの生活と文化」では、文化の役割や伝統文化の継承、多様な文化の意義を取り上げ、琉球文化やアイヌ文化などの日本の中の多様な文化にも触れることで、日本の伝統文化の豊かさや、それを継承していくことの大切さ、新しい文化を創造する意義について理解を深め、また、外国の文化を尊重する態度を養えるようにしました。	p.18-23 など
	● 第1章の特設ページ「もっと知りたい!」では、日本の無形文化遺産を取り上げ、伝統行事が地域の結びつきや世代を超えた絆を深める役割を果たしてきたことへの理解を深め、伝統文化を尊重する態度を養えるようにしました。	p.36
	● 第2章2節1項「平等権①」や特設ページ「もっと知りたい!」では、アイヌ文化の継承の取り組みやアイヌ民族の社会的地位向上のための法律や取り組みなどに触れ、先住民としての権利を尊重し、人権保障を実現していく重要性を深く認識できるようにしました。	p.50-51、74-75
	● 第5章1節2項「領土をめぐる問題の現状」では、我が国が抱える領土をめぐる問題について、その歴史的背景や解決に向けた取り組みを丁寧に解説することで、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識できるようにしました。	p.186-187
	● 第5章3節2項「より良い地球社会を目指して」では、様々な宗教や世界遺産を取り上げ、文化の多様性が地球社会を豊かにすることへの理解を深め、国際社会の一員として異文化への寛容さを持ち、尊重する態度を養えるようにしました。	p.208-209
	● 第2章1節4項「平和主義の意義と日本の役割」と第5章の特設ページ「もっと知りたい!」では、琉球文化や沖縄にアメリカ軍基地が置かれることになった歴史的経緯、日本と世界の安全保障について触れ、文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。	p.47、215

検討の観点と内容の特色

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 公民』の特色	該当箇所
内容の程度・分量	指導計画作成上の配慮	● 本文は見開き2ページで1単位時間を原則にしています。 ● 目次、索引、巻末資料などを除いたページは218ページで、標準授業時数100単位時間のうち、4単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能。 ● 授業時数は、公民学習の導入に1単位時間、第1章に13時間、第2章に17時間、第3章に23時間、第4章に24時間、第5章に14時間、終章に4時間を配当し、また、それぞれに単元の導入の活動とまとめの活動の時間を充當しており、適切な配当といえます。 →本書 p.35 「単元構成と配当授業時数」参照	全体
	適正な内容・分量	● 内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、文章も敬体（ですます体）を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述しました。 ● ふりがなは、教育漢字外の漢字に、見開き2ページごとに付すことを原則に、固有な名詞などの必要な箇所にも適宜付しています。また、本文だけでなく、資料ごとに付すことで、ほかの箇所でも読み方を確認する必要がないようにしました。	全体
教育基本法・学習指導要領への対応	基礎的・基本的な知識・概念や技能を習得する。	● 見開き1単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→1時間を貫く問いである『学習課題』→丁寧で分かりやすい『本文』→1時間の学習課題を解決する『チェック&トライ』」の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしました。 →本書 p.12-13 参照 ● 本文中の難しい用語を解説する「もっと解説」を本文ページの随所に配置し、単元のまとめには用語の確認をする「ワードチェック」を設け、確実な理解を促すようにしました。また、QRコンテンツでは、社会科で学習する重要用語が確認できる「社会科用語マスター」を用意しています。 ● 公民学習の基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を設け、学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました。 →本書 p.23 参照	全体 p.12、27、46、58、67、89、107、145、157、160 など p.45、83、87、103、135、163 など
	「現代社会の見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育む。	● 第1章や各単元の学習の冒頭で「見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるようにしました。 ● 1単位時間の学習内容をまとめる「チェック&トライ」を設け、着実に思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。	p.28-29、41、54、75、124 など 全体
	我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考え、国土、歴史に対する理解と愛情を深める。	● 各章の終結部には「座標軸」「ステップチャート」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしました。 →本書 p.16-17 参照 ● 小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。 →本書 p.23 参照	p.34-35、72-73、124-125、178-179 など p.9、53、81、124、133、171、209 など
		● 我が国の特色ある伝統や文化に関する教材や、伝統や文化の継承や保存に取り組む中学生の姿を豊富に取り上げ、我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を深め、伝統や文化の継承者としての資質や能力を養えるようにしました。	p.18-23、36 など

観点別特色一覧

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 公民』の特色	該当箇所
教育基本法・学習指導要領への対応	我が国の領域を正しく理解できる。	● 地理や歴史での学習内容をふまえて、我が国の領域について「主権」や「外交」の視点から正しく理解し、我が国がかかえる領土をめぐる問題の現状を捉え、解決に向けての意識が高められるようにしました。	p.184-187
	国旗や国歌を尊重する態度を育てる。	● 第5章1節の「国際社会における国家」で「国旗と国歌」について記述し、国旗・国家を尊重することの重要性が理解できるようにしました。	p.185
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	● 第1章1節に「持続可能な社会に向けて」を設けたり、中学生が社会参画している事例を取り上げたりすることで、持続可能な社会の形成に必要な一人一人の社会参画について、具体的な事例を通して理解できるようにしました。 ● 「インタビューコラム」を随所に設け、実際に社会に参画している人々の姿から、自らの生き方やキャリア形成について考えられるようにしました。 ● 公民学習の最後には、持続可能な社会について構想し、自分にできることをアクションプランにまとめるページを設け、社会参画に向けた主体的な態度を養えるようにしました。	p.8-9、118、120-121、175 など p.50、69、76、106、118、145、169、197 p.216-223
構成・配列	教材の配列は学習しやすいか。	● 各章の学習を、「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し、学習の流れを捉えやすくしました。 →本書 p.6-7 参照	(経済単元の例) 導入部 : p.129-131 →展開部 : p.132-175 →終結部 : p.176-179
	導入やまとめ、問題提起の教材、学習の整理のための配慮は十分か。	● 第2・3・4章は「人権・憲法→政治→経済」の流れにすることで、公民学習の基盤である「人権・憲法」を先に学習し、「経済」については政治や政策との関連から学習を深められるようにしました。また、第3章は「国の政治→地方自治」の流れにし、「国の政治」を通じた民主政治の基礎についての学習を基に、地方自治の学習を展開することで、地方自治の意義を理解しやすくしました。 ● 各章の「導入の活動」と「まとめの活動」には共通の題材を使うことで学習の流れを促しています。また、各単元の最後には基礎・基本のまとめが可能な「確かめよう」を設け、模式図などを使って学習内容を整理することで、基礎・基本の定着を図れるようにしました。 →本書 p.14 参照	全体 p.32、70、122、176、210
	写真・図表その他の資料が適切に用意され、学習効果を高めているか。	● 各見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し、えんぴつマークの活動コーナーを設けることで、学習にスムーズに入れるようにしました。	全体
	小学校や高等学校との接続・系統性があるか。	● 本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようにしました。 ● 漫画やイラストなどを豊富に掲載し、生徒が興味・関心を持って学習を進められるようにしました。	全体 p.6-7、16、26-31、130-131 など
学習効果をも高めるQRコンテンツが用意されているか。	他分野との関連に配慮しているか。	● 各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容用語や写真でふり返るページを設けるとともに、QRコンテンツから既習事項をふり返るなど、単元の学習をイメージしやすいコンテンツを用意し、小学校での4年間の社会科学習に中学校での3年間の学習を重ねた「7年間の社会科学習」を系統的に展開できるようにしました。 ● 巻末に、高等学校の必修科目「公共」について紹介するページを設け、中・高の橋渡しに配慮しました。	p.37、77、129、181 巻末 2
	他教科との関連に配慮しているか。	● 3年間の社会科学習を貫く5つのテーマ（「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」）について、特設ページ「もっと知りたい!」を3分野共通に掲載したり、3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、分野関連を示すリンクマークを付したりすることで、多面的・多角的な学習ができます。 →本書 p.24-25 参照	p.14-15、36、74-75、126-127 など
		● 理科、道徳、家庭科など他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマークを付し、QRコードを読み取って該当教科の教科書を参照することで、教科を横断して多面的に学習を深められるようにしました。 →本書 p.25 参照	p.12、126、138、172 など
		● 導入→展開→まとめという単元の学習の流れの中で活用できるよう、日々の授業や家庭学習で使えるコンテンツを用意しました。 →本書 p.18-19 参照 ● 導入のページでは、動画クリップなど、単元の学習をイメージしやすいコンテンツを用意しました。 ● 展開のページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまづきを補うシミュレーションなどのコンテンツを用意しています。また、コンテンツを活用しながら学習を進められるよう、QRコードを学習課題の隣に置きました。 ● まとめページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容を確認するクイズなどを用意しました。	全体 p.6、37、77、129、181、216 など p.8、10、12、16、18、20、22、24、26、28 など p.32-35、70-73、122-125 など

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 公民』の特色	該当箇所	
今日的な課題への対応	持続可能な開発目標 (SDGs)	● 教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。 ● 持続可能な社会の形成について、第1章1節と終章で取り上げ、第5章やQRコンテンツの参考法令集で「持続可能な開発目標 (SDGs)」を取り上げることで、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。	全体 巻頭 1-巻頭 2 巻頭 1-巻頭 2、p.8-9、182-183、191、195、206、216-223 など	
	環境・エネルギー	● 公害問題や地球環境問題、日本のエネルギー政策などについて多様な教材を掲載し、話し合いなどの活動を通して、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。	p.8、64、172-173、180、198-203 など	
	人権・平和	● 第2章の導入の活動「ちがいのちがい」で身近な事例から人権について考えさせるとともに、インクルージョンについて考える活動を設けたり、「もっと知りたい!」で共生社会を目指す具体的な事例を掲載したりすることで、人権意識を高められるようにしました。	p.38-39、53、74-76 など	
	伝統・文化	● 第1章で伝統文化の継承や新たな文化の創造、多様な文化について扱うとともに、日本の無形文化遺産などについて取り上げる「もっと知りたい!」を新設し、伝統・文化への理解を深められるようにしました。	p.18-23、36 など	
	防災・安全	● 東日本大震災からの復興や防災対策、防犯などの課題について、具体的な事例を通して、社会参画や地方自治、自助・共助・公助、減災、人権などの多様な観点から考えられるようにしました。	p.8-9、67、126-127 など	
	情報・技術	● 第1章で情報化について扱うとともに、「もっと知りたい!」でAIやVRなどの新しい情報技術による社会の変化について取り上げ、具体的な事例から情報・技術について理解できるようにしました。 ● 新聞記事を豊富に掲載し、新聞を使った活動を取り上げるなど、情報モラルやメディアリテラシーについて、具体的な活動を通して養えるようにしました。	p.12-15 p.67、86-87、98、110 など	
	主権者教育・消費者教育	● 成年年齢の満18歳以上への引き下げに対応して、18歳でできることと20歳でできることを整理して理解できるページを新設しました。 ● 選挙権・国民投票権の満18歳以上への引き下げに対応して、実際の選挙の流れを豊富な資料とともに概観するページや憲法改正や選挙に関する記述を掲載することで、選挙制度や選挙の意義について具体的に理解できるようにしました。 ● 成年年齢の満18歳以上への引き下げに対応して、身近な場面設定を用いて契約の注意点を学習できるページを設け、広告の読み取りや悪質商法への対処などの具体的な活動や事例を通じて、「自立した消費者」として必要な資質や能力を身に付けられるようにしました。	p.60-61 p.44-45、58、78-79、82-85、88-91、97、124-125 など p.132-139	
	家族	● 現代日本の家族の特色と意義について第1章で取り上げ、家族の重要性を理解できるようにしました。	p.16-17、24-25	
	先生がたの働き方改革への貢献	● 1見開きあたり1単位時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。 ● 単元における「導入の活動」と「まとめの活動」に一体感を持たせるとともに、配当時間を設け、単元構想が立てやすくなるようにしました。 ● 紙面上で、活動場面に「見方・考え方」を働かせる視点の例を分かりやすく提示しました。 →本書 p.12-13、23 参照	全体 p.38-39、72-73 など p.9、13、54、105、191 など	
	インクルーシブ教育を目指して	● 特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。 ● 資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。 ● 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。 ● 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。 ● 小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。 ● 別途発行予定の学習者用デジタル教科書では、文字の大きさ変更(リフロー表示)、本文の読み上げ(機械音声)、文字色・背景色・行間の変更や、ふりがな表示、分かち書き表示に対応し、全ての子どもを学習を支援します。→本書 p.26-27 参照	全体	
	令和の日本型学校教育の推進	● 紙面に付したQRコードを機器で読み取ることで、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、豊富なデジタルコンテンツを利用することができるため、学校でも家庭でも学習者個人に合わせて学習を調整することができます。 ● 学習者用デジタル教科書では、画面に表示される紙面上のQRコードをクリックするだけの操作で、簡単にQRコンテンツにアクセスすることができます。	全体	
	印刷・造本	表記・表現	● 視覚的効果が高い幅広の判型(AB判)を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっています。	全体
		製本・印刷	● 印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ● 強力な接着剤を用いた製本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えられます。	全体
		用紙・紙質	● 様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くして裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。 ● 用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用して環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えるように工夫しています。	全体

現代的な諸課題と教材の対照表

1 人権・平和：基本的人権や国際平和、共生社会にかかわる教材

章	節	ページ	項目	章	節	ページ	項目	
-	-	巻頭 1- 巻頭 2	持続可能な社会の実現に向けて	2	2	p.58-59	人権を確実に保障するための権利	
1	1	p.8-9	持続可能な社会に向けて	2	3	p.64-67	新しい人権	
-	-	p.37	第 2 章 個人の尊重と日本国憲法				p.68-69	グローバル社会と人権
-	-	p.38-39	ちがいのちがい				p.72-73	ちがいのちがいを追究しよう
2	1	p.40-41	人権の歴史と憲法				p.74-75	先住民族としてのアイヌ民族
		p.46-47	平和主義の意義と日本の役割				p.76	だれもが暮らしやすい共生社会に
		p.48-49	基本的人権と個人の尊重	4	2	p.150-151	労働環境の変化と課題	
2	2	p.50-53	平等権			p.214	パレスチナ問題と中東和平	
		p.54-55	自由権	5	-	p.215	「沖縄復帰 50 周年」と、日本と世界の平和	
		p.56-57	社会権					

2 伝統・文化：我が国や他国の伝統・文化、国土や歴史への理解にかかわる教材

章	節	ページ	項目	章	節	ページ	項目
-	-	巻頭 1- 巻頭 2	持続可能な社会の実現に向けて	1	-	p.36	伝統文化がなくなると、過去と現在、人々、そして世界中の人々との絆
1	1	p.8-9	持続可能な社会に向けて	2	2	p.46	広島市の平和記念式典
		p.10-11	グローバル化（多文化共生）		-	p.51	北海道白老町の民族共生象徴空間（ウポポイ）
	p.18-19	私たちの生活と文化の役割			p.74-75	先住民族としてのアイヌ民族	
	2	p.20-21	伝統文化の継承と新たな文化の創造	5	1	p.184-185	国際社会における国家
		p.22-23	多様な文化の意義			p.186-187	領土をめぐる問題の現状

3 環境・エネルギー：地球環境問題や資源エネルギー問題など、持続可能な社会にかかわる教材

章	節	ページ	項目	章	節	ページ	項目		
-	-	巻頭 1- 巻頭 2	持続可能な社会の実現に向けて	4	5	p.174-175	経済の持続可能性と真の豊かさ		
1	1	p.8-9	持続可能な社会に向けて				p.180	公害のない社会へー水俣市を例に考える	
2	3	p.64	環境権	5	2	p.198-199	地球環境問題		
4	1	p.137	自立した消費者（環境への配慮）					p.200-201	気候変動と資源・エネルギー問題
		p.172-173	公害の防止から循環型社会の形成へ					p.202-203	これからの日本のエネルギーを考える

4 防災・安全：自然災害や復旧・復興などの防災・安全にかかわる教材

章	節	ページ	項目	章	節	ページ	項目
-	-	巻頭 1- 巻頭 2	持続可能な社会の実現に向けて	3	3	p.115	自転車の安全な利用を目指してー福岡市の自転車安全利用条例ー
1	1	p.8-9	持続可能な社会に向けて				p.126-127
		p.12-13	情報化（防災に役立つ情報の活用）	5	2	p.202	福島県の復興

5 情報・技術：情報化や技術の進歩が人間社会に与える影響にかかわる教材

章	節	ページ	項目	章	節	ページ	項目
-	-	巻頭 1- 巻頭 2	持続可能な社会の実現に向けて	2	3	p.64-67	新しい人権
1	1	p.8-9	持続可能な社会に向けて	3	1	p.86-87	マスメディアと世論
		p.12-13	情報化	4	2	p.143	技術革新と知的資源
		p.14-15	新しい情報技術で社会が変わる		3	p.159	世界で進むキャッシュレス化
		p.19	科学の役割と科学者の願い				

6 社会参画にかかわる教材

章	節	ページ	項目	章	節	ページ	項目	
1	1	p.8-9	持続可能な社会に向けて	2	2	p.97	憲法審査会と憲法の改正	
2	1	p.44-45	国民主権と私たちの責任				p.114	地方議会の活性化
		p.58	参政権		3	3	p.118-119	住民参加の拡大と私たち
3	2	p.60-61	18歳でできること、20歳でできること			p.120-121	政治参加をしてみよう	
		p.78-79	だれを市長に選ぶ？			p.124-125	S市の議員になって条例を作ろう	
		p.82-83	選挙の意義と仕組み	5	-	p.182-183	SDGsから地球規模の課題についてとらえよう	
		p.86-87	マスメディアと世論			p.212-213	はちみつ争い	
		p.89	私たちの政治参加			p.218-221	持続可能な社会を実現するために	
		p.90-91	選挙の流れ		終	-		

■ 単元構成と配当授業時数

図書構成・内容		学習指導要領の内容	教科書ページ	配当時数
巻頭	持続可能な社会の実現に向けて	A-(1)	巻頭 1- 巻頭 2	1
	公民学習の初めに		巻頭 3-1	
	もくじ		2-3	
	この教科書の使い方と学び方		4-5	
第 1 章	現代社会と私たち	A-(1)(2)	6-36	13
導入		A-(1)	6-7	1
1 節	現代社会の特色と私たち	A-(1)	8-17	4
2 節	私たちの生活と文化	A-(1)	18-23	3
3 節	現代社会の見方や考え方	A-(2)	24-32	4
まとめ		A-(2)	33-35	1
第 2 章	個人の尊重と日本国憲法	C-(1)	37-76	17
導入		C-(1)	37-39	1
1 節	人権と日本国憲法	C-(1)	40-49	5
2 節	人権と共生社会	C-(1)	50-63	7
3 節	これからの人権保障	C-(1)	64-69	3
まとめ		C-(1)	70-73	1
第 3 章	現代の民主政治と社会	C-(2)	77-128	23
導入		C-(2)	77-79	1
1 節	現代の民主政治	C-(2)	80-91	6
2 節	国の政治の仕組み	C-(2)	92-111	10
3 節	地方自治と私たち	C-(2)	112-121	5
まとめ		C-(2)	122-125	1
第 4 章	私たちの暮らしと経済	B-(1)(2)	129-180	24
導入		B-(1)(2)	129-131	1
1 節	消費生活と経済	B-(1)(2)	132-141	5
2 節	生産と労働	B-(1)(2)	142-151	5
3 節	市場経済の仕組みと金融	B-(1)	152-163	6
4 節	財政と国民の福祉	B-(2)	164-171	4
5 節	これからの経済と社会	B-(2)	172-175	2
まとめ		B-(1)(2)	176-179	1
第 5 章	地球社会と私たち	D-(1)	181-215	14
導入		D-(1)	181-183	1
1 節	国際社会の仕組み	D-(1)	184-193	5
2 節	さまざまな国際問題	D-(1)	194-205	5
3 節	これからの地球社会と日本	D-(1)	206-209	2
まとめ		D-(1)	210-213	1
終章	より良い社会を目指して	D-(2)	216-223	4
			予備時間	4
			合計	100

※予備時間は、生徒の自主的な学習活動の時間や評価などに充てる時間です。

■ 東京書籍「新編 新しい社会」の仲間たち

